

令和 3 年度 事業報告書



社会福祉法人
甲賀市社会福祉協議会

目 次

I. 法人の組織運営	5
1. 組織強化と人材育成	5
(1) 理事会等の運営	5
(2) 人事評価制度	10
2. イクボス・働き方改革の取り組み	11
(1) 業務の効率化、合理化	11
(2) 年次有給休暇取得率、時間外勤務等の状況	11
(3) 一般事業主行動計画の作成・変更	12
3. 財源の確保、他	12
(1) 社協会費	12
(2) 地域福祉基金	13
(3) 補助金・委託金の確保	13
(4) 善意銀行の運営	14
(5) 中期ビジョンの策定	15
(6) 水口社会福祉センター改修計画にかかる利用団体等への対応	15
(7) 苦情解決	15
(8) 役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加	16
(9) 新型コロナウイルス感染予防対応	20
(10) 法人関係会議、行事への参加他	21
II. ご近所福祉でまちづくり	22
1. 第3次甲賀市地域福祉活動計画策定	22
2. 地域（町）ご近所福祉推進協議会	22
3. 甲賀市災害福祉ネットワークセンター	24
4. ご近所福祉活動の推進	25
(1) 全体での取り組み	25
(2) 水口地域福祉活動センター	26
(3) 土山地域福祉活動センター	28
(4) 甲賀地域福祉活動センター	29
(5) 甲南地域福祉活動センター	30
(6) 信楽地域福祉活動センター	33
(7) 生活支援体制整備事業	34
(8) 重層的支援体制移行準備事業	36
5. 地域活動推進助成事業	37
(1) ご近所福祉活動助成	37
(2) ふれあいいきいきサロン支援・助成事業	38
6. 当事者支援	39
(1) 子育て支援	39
(2) 高齢者支援	39
(3) 障がい者支援等	40
7. 団体支援	41
(1) 甲賀市民生委員児童委員協議会連合会	41
(2) 介護者の会	43
(3) その他団体支援	43
8. 福祉センター等指定管理事業	43
(1) 社会福祉センター管理・運営事業	43
(2) 老人福祉センター碧水荘（水口）	44
(3) 老人福祉センターフィランソ土山	45
(4) 老人福祉センター佐山荘（甲賀）	45
9. 甲賀市社協ボランティアセンター事業	46

(1) 福祉ボランティア活動の活性化	46
(2) 甲賀市ボランティア連絡協議会支援	48
(3) 福祉学習等開催支援	48
(4) ボランティア助成事業	49
(5) ワクチン接種会場ボランティア派遣	49
10. 広報、社協表彰状贈呈式、人材育成	49
(1) 広報紙の発行	49
(2) あいコムこうか共同制作「こうふくコロンプス」	50
(3) 社協表彰状贈呈式	51
(4) 実習生の受入れ	52
11. その他受託事業等	52
(1) ファミリーサポートセンター事業	52
(2) こんにちは赤ちゃん事業	53
(3) ふくしマンパワーねっと事業	53
12. 機器貸出事業	55
III. 「相談・支援」の取り組み	56
1. 生活困窮者自立支援の取り組み	56
(1) 自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進	56
(2) 甲賀市学習支援事業「学んでいこうカ」の実施	57
(3) フードバンク事業 e ころもプラン	58
(4) 住民同士による外出支援活動の推進	60
2. 生活支援活動	60
(1) 資金貸付事業	60
(2) 地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター）	61
3. 障がい者への相談支援・計画相談支援の実施	62
4. ひきこもり支援活動	63
5. その他受託事業	64
(1) 障がい児タイムケア事業	64
IV. 福祉作業所の運営	66
1. つちやま福祉作業所	66
2. 甲賀福祉作業所	69
V. 医療・介護・福祉連携への取り組み	72
1. 在宅生活支援部の事業	72
(1) 在宅看取りケア・認知症支援	72
(2) 感染予防対策の取り組み	73
(3) 介護・看護人材の確保と定着	73
(4) 避難行動要支援者個別計画作成のための訪問調査	73
(5) 甲賀市地域包括支援センター業務の受託に向けての準備	73
2. 訪問介護事業	74
3. 訪問入浴事業	76
4. 通所介護事業	77
5. 訪問看護事業	78
6. 居宅介護支援事業	79

事業内容を補足する重要な事項がないため（本文に記載済みのため）事業報告の
附属明細書は作成しておりません。

事業総括

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化している現在、感染拡大防止に十分な配慮をしながら活動の規模縮小や延期を余儀なくされる等、人と人、人と地域のつながりが希薄化するなか、家庭においては生活困窮や孤立、子育てや介護の悩みや虐待等、複合的な課題が地域からは見えにくく潜在化している現状があります。

こうした中、令和３年度には甲賀市において二つの大きな事業についての方向性が示されました。

一つは高齢や障害、困窮、介護、児童といったそれまでの縦割りではなく、チームとして包括的に受け止め、総合的に寄り添い、支援していく「重層的支援体制整備事業」です。複雑多様化する現在においては、一つの家庭で介護や障害、子育て、認知症、さらにコロナ下での困窮や虐待事例等、一つの分野だけでは対応しきれない問題が重層的に絡まっている家庭が少なからずあり、これからは世代や属性にとらわれない相談体制や地域づくりが求められています。本会はそうした課題に対応すべく市と情報共有をするとともに、困難事例に寄り添って、受託に向けて市と共に準備を進めてまいりました。

もう一つは「地域包括支援センターの民間委託」です。従来から甲賀市において地域包括支援センターは、市直営で運営されていましたが、令和４年度からは順次民間事業者で地域包括支援センターを運営していく公設民営の方向性が示されました。

本会は、平成２９年度から主任ケアマネジャーを、さらにその２年後には社会福祉士を市の地域包括支援センターに派遣している経緯からも、理事会審議を経てプロポーザルの参加表明を行い、さらに理事会、評議員会により受託することが決議されました。

令和３年度は、上記のようにこれから始まる受託事業についての準備を整えながらさまざまな事業等を推進しました。

また、令和３年度は、任期満了に伴う役員、評議員の同時改選の年であり、他市社協の状況も踏まえて定数変更を行い、新体制での執行体制となりました。そして、計画策定としては、まず、行政計画である「甲賀市地域福祉計画」と歩調を合わせながら、住民や民間の活動計画として、これからの４年間の方向性を見据えた「第３次甲賀市地域福祉活動計画」を策定するとともに、法人としての内部計画である「中期ビジョン」を策定いたしました。これらの計画に基づいて各町地域特性に応じたご近所福祉活動が住民主体で推進されています。

また、市全域においては、新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種が行われるにあたり、赤十字奉仕団をはじめ多くの登録ボランティアのご協力をいただいてワクチン接

種会場へのボランティア派遣をすることができました。会場にはワクチン接種に不安を抱えた高齢者に可能な限り寄り添いながら行う声掛けや車いすの介助等の支援を行い3会場で延べ149日、延べ590人のボランティアのご協力をいただきました。

他にも、広報面においては地域福祉専門番組を開設し、あいコムこうかとの協働により番組を制作して、市内における住民のサロン活動やさまざまなボランティア活動を紹介していきました。

困窮対策としては、住民ボランティアが主体的に市内3ヶ所のフードバンク事業 e こころステーションを運営されており、そこを拠点に甲賀市ひとり親家庭福祉の会や国際交流協会等とも連携をしながら「こころつながる・あたたかい贈り物」として歳末に配分事業も行いました。

介護部門においては、「住み慣れた自宅で人生の最期を迎えたい」その思いに応えるため、地域や医療機関との連携を強化して在宅看取りケアを推進しました。その結果、本会の契約者については死亡終了者数の39.1%が住み慣れた在宅で看取ることができました。

そして、地域包括支援センター受託に向けた人材育成や確保といった準備を進めるとともに、出口の见えないコロナ禍にあって、何よりも職員の健康管理、感染予防ケアに最大の注意を払い、全事業所でBCPマニュアルに基づく訓練を実施したり、コロナ緊急包括支援金を活用するなどして、事業所における感染予防についての環境整備や予防具の備蓄等を行いながら、サービスを提供いたしました。ただ、介護・看護人材の確保には大変苦慮しており、「かいご・ふくし就職フェア」やハローワークでの「就職説明会」に積極的に参加して、人材獲得に向けた働きかけをするとともに、魅力的で効率的な職場環境づくりのため業務効率化強調月間等を設け、職員の意識改革を継続させ、働きやすい職場環境づくりに努めています。

そして、福祉作業所においては、サービスを提供する上での基本理念を「はたらく・つながる・かなえる」と定め、重度の方（歩行介助）を含めて利用者が増員となったことによるサービス提供の質の確保や向上が求められているなか、障がい特性に応じた活動が提供できるよう運営いたしました。

I. 法人の組織運営

1. 組織強化と人材育成

(1) 理事会等の運営

《理事会》

今年度は任期満了に伴い定数の変更を行うとともに、新役員の中から林会長が選定され、新しい執行体制となった。法人業務の適切な運営を図るため、理事をもって組織する理事会によって業務内容の検討や決定を行った。

①【開催日】5月11日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 評議員会の開催結果

《専決事項》

1. 甲賀福祉作業所運営規程の一部改正（案）

《審議事項》

1. 退任に伴う第8期評議員選任候補者の推薦（案）

2. 評議員選任・解任委員会の招集（案）

3. 評議員会の招集（案）

4. 公印規程の一部改正（案）

※原案通り可決

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】理事11人、監事2人

②【開催日】6月8日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 令和2年度地域福祉基金の活用

2. 東近江労働基準監督署による現地調査

《審議事項》

1. 令和2年度事業報告（案）

2. 令和2年度一般会計資金収支決算（案）

3. 令和3年度一般会計第1次補正予算（案）

4. 第三者委員の選任（案）

5. 評議員選任・解任委員会の招集（案）

6. 第9期評議員選任候補者の推薦（案）

7. 第10期役員候補者（案）の承認

8. 退任に伴う第8期補欠評議員選任候補者の推薦（案）

※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 12 人、監事 2 人

③【開催日】 6 月 23 日（水）

【内 容】《報告事項》

1. 評議員選任・解任委員会選任結果

2. 定時評議員会の開催結果

《審議事項》

1. 第 10 期会長および副会長、常務理事の選定

2. 第 10 期顧問の同意

※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 10 人、監事 1 人

④【開催日】 9 月 27 日（月）

【内 容】《報告事項》

1. 水口社会福祉センターの改修予定

《審議事項》

1. つちやま福祉作業所就労継続支援 B 型事業運営規程の一部改正（案）

2. 甲賀福祉作業所就労継続支援 B 型事業運営規程の一部改正（案）

3. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）

4. 第 3 次甲賀市地域福祉活動計画（案）

5. 評議員会を书面決議とすることについて（案）

※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 10 人、監事 2 人

⑤【開催日】 12 月 7 日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 令和 3 年度第 2 回評議員会書面決議の結果

2. 令和 3 年度中間事業報告並びに中間決算状況

3. 民事裁判

《審議事項》

1. 正規職員就業規則の一部改正（案）

2. 嘱託職員就業規則の一部改正（案）

3. パートタイマー等就業規則の一部改正案（案）

4. 給与規程の一部改正（案）

5. ヘルパーステーションこうなん運営規程（指定訪問介護）を廃止する規程の
制定（案）

6. ヘルパーステーションこうなん運営規程（訪問型サービス「現行相当」）を
廃止する規程の制定（案）

7. ヘルパーステーションこうなん運営規程（訪問型サービスA）を廃止する規程の制定（案）
 8. ヘルパーステーションこうなん居宅運営規程（訪問型サービス「現行相当」）を廃止する規程の制定（案）
- ※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 10 人、監事 1 人

⑥【開催日】 1 月 24 日（月）

【内 容】《報告事項》

1. 東近江労働基準監督署施設現地調査
2. 滋賀県土木事務所特定建築物定期調査

《審議事項》

1. 信楽地域包括支援センター運營業務委託に係る公募型プロポーザルへの参加表明（案）
2. 評議員会の招集（案）

※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 10 人、監事 1 人

⑦【開催日】 3 月 8 日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 会用车（新車）リース契約の締結
2. 令和 3 年度社会福祉法人等指導監査の結果及び会長および常務理事の職務執行状況
3. 障がい者相談支援事業過誤調整（継続支援費の返還）

《審議事項》

1. 令和 3 年度一般会計資金収支第 2 次補正予算（案）
2. 定款の一部改正（案）
3. 中期ビジョン（案）
4. 令和 4 年度事業計画（案）
5. 経理規程の一部改正（案）
6. 令和 4 年度一般会計資金収支予算（案）
7. 給与規程の一部改正（案）
8. 嘱託職員就業規則の一部改正（案）
9. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
10. 育児・介護休業等に関する規則の一部改正（案）
11. 事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正（案）

※原案通り可決

【場 所】 まちづくり活動センター まる一む

【出 席】 理事 10 人、監事 2 人

《役員会》

【開催日】 11 月 9 日（火）

【内 容】 《報告事項》

1. 土山地域グループホーム開設に向けて状況

2. フィランソ土山の指定管理業務

《検討事項》

1. ヘルパーステーションこうなんの現状と方向性

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 理事 10 人、監事 1 人

《評議員会》

任期満了による改選に伴い定数の変更を行い、法人の決議機関として開催した。

① 【開催日】 6 月 23 日（水）

【内 容】 《報告事項》

1. 退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任

《審議事項》

1. 令和 2 年度事業報告（案）

2. 令和 2 年度一般会計収支決算（案）

3. 令和 3 年度一般会計資金収支第 1 次補正予算（案）

4. 第 10 期役員選任（案）

※原案通り可決

【場 所】 水口社会福祉センター

【出 席】 評議員 29 人、理事 4 人、監事 1 人

② 【決議があったとみなされる日】 10 月 26 日（火） 書面決議

【内 容】 《審議事項》

1. 第 3 次甲賀市地域福祉活動計画（案）について

【書面同意】 評議員 27 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全評議員の書面による同意決議

③ 【決議があったとみなされる日】 3 月 25 日（金） 書面決議

【内 容】 《報告事項》

1. 水口社会福祉センター改修工事に伴う本部機能移転について

《審議事項》

1. 令和3年度一般会計資金収支第2次補正予算（案）
2. 定款の一部改正（案）
3. 甲賀社会福祉協議会中期ビジョン（案）の制定
4. 令和4年度事業計画（案）
5. 令和4年度一般会計収支予算（案）

【書面同意】評議員 27 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全評議員の書面による同意決議

《評議員選任・解任委員会》

法人の評議員の選任・解任を行うための機関として設置し、評議員の選任を行った。

①【開催日】6月11日（金）

【内 容】1. 第8期本会評議員の退任に伴う第8期補欠評議員の選任

6人退任に伴い6人を選任

2. 第9期本会評議員の選任

27人を選任

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】評議員選任・解任委員（3人）、常務理事

《監査会、その他の監査》

① 社会福祉協議会定例監査

法人の事業運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率よくまた、適切に行われているか確かめるため、監事による監査を行った。

【開催日】5月27日（木）

【内 容】令和2年度 実施事業監査、会計決算監査

【結 果】指摘事項なし

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】監事2人、大辻税理士法人1人

会長、副会長（2人）、常務理事、法人運営部長、法人運営副部長、在宅生活支援部長、在宅生活支援副部長、総務課長、総務係長

② その他の監査

○社会福祉法人指導監査（甲賀市）

法人の運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率よくまた、適切に行われているか確かめるため指導監査を受け、その他助言については速やかに改善を図った。

【日 時】1月21日（金）9：30～14：30

【内 容】業務執行状況検査、財産管理状況検査、会計状況検査

検査官 甲賀市役所健康福祉部 （6人）

【結 果】文書指摘・口頭指摘事項 なし

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】会長、監事（2 人）、常務理事、法人運営部長、在宅生活支援部長、総務課長、
係長（会計）、大辻税理士法人（1 人）

○月例監査

法人の会計業務が経理規程の定めに従い、効率的かつ適切に行われているか確かめるため、顧問税理士による監査を毎月行った。また、会計業務の効率化と改善に向けてアドバイスを受ける。

○大辻税理士法人による月次会計監査の実施

・社協一般会計（年間 12 回）

《三役会議》

社会福祉法人として適切で充実した法人運営を図るため、会長・副会長・常務理事出席および部長級以上の職員参加の中、次の会務を実施した。

①【開催日】5 月 21 日（金）

【内 容】監事会・理事会提案事項について

【場 所】水口社会福祉センター

②【開催日】9 月 13 日（月）

【内 容】理事会提案事項について他

【場 所】水口社会福祉センター

③【開催日】11 月 25 日（木）

【内 容】理事会提案事項について

社協表彰について他

【場 所】水口社会福祉センター

④【開催日】2 月 25 日（金）

【内 容】理事会提案事項について他

【場 所】水口社会福祉センター

（２）人事評価制度

今年度より目標管理については、職員の負担軽減を図る観点からも前期・後期別目標を定めず年間目標を立てて事業を推進した。

考課については、考課者の一部に負担が偏るような現状が見られていたため、主任級を位置づける等の改善を行うことにより改善できたが、限られた人員体制の中で継続的な検討課題となっている。

【人事審査委員会】 4回

(4月26日、27日、10月26日、27日)

【評価制度説明会】○新任職員研修 4月1日(木)

【考課者訓練】○考課者訓練 4月22日(木)

2. イクボス・働き方改革の取組み

イクボス・働き方改革推進チームを設けて職場と生活の調和の応援と、働き方を見直し推進するために継続して改革を行っているほか、職員の楽しみやつながりづくりのため、職員互助会との共同企画により、職員のサークル活動をスタートさせた(7サークル)。また、60歳を過ぎても安心して働けるよう人材確保の一環として、定年延長制を設けるとともに組織の活性化のため、役職定年を設けた。

(1) 業務の効率化、合理化

業務効率化シート(業務項目、業務内容、課題、効率化達成状況)を活用して、全部署で取り組み、意識改革や業務改善、合理化を推進した。今年度も業務効率化の推進月間を11月と定め、集中して日頃の業務を見直す機会を設けて効率化に向けて改善を図った。

(2) 年次有給休暇取得率、時間外勤務等の状況

① 年次有給休暇の取得については、定期的に取得状況を事業所ごとに報告・把握し、未取得者に対して取得を促しながら全職員に対して奨励を行った。今年度も年間10日以上年次有給休暇が付与されている全職員について、5日以上の年次有給休暇を取得することができた。

・ 有給休暇の取得率 (平成27年度～29年度) 取組み前3年間平均(基準)

1人あたり平均 正規 44.6% パート 62.9%

令和3年度 1人あたり平均 正規 63.6% パート 85.5%

② 時間外勤務については、全体的には減少してきている傾向にあるものの、一部の部署については改善しきれていない課題も見られる。

・ 時間外労働 (平成27年度～29年度) 取組み前3年間平均(基準)

1人あたり平均 7.5時間

令和3年度 1人あたり平均 5.3時間/月

③ 今期の離職率は、正規職員については基準と比べ低い傾向となった。

・ 平均離職率 (平成27年度～29年度) 取組み前3年間平均(基準)

正規 3.9% パート 16.2%

令和3年度 正規 1.2% パート 16.5%

（３）一般事業主行動計画の作成・変更

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定にあたり、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を見直し、職員が仕事と子育てを両立させることができるよう、雇用環境を整備するため策定見直しを行った。

《次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画》

計画期間 令和４年４月１日～令和９年３月３１日

目標 １ 有期契約職員を含む全職員の年次有給休暇の取得率を、年間付与日数 70% 以上とする。

目標 ２ 所定外労働時間削減のための周知や業務改善への働きかけを行い、時間外労働や休日出勤の多い部署や職員に対して、業務量の見直しや調整・面談等を行い、所定外労働の削減を図る。

《女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画》

計画期間 令和４年４月１日～令和９年３月３１日

目標 １ 介護休業、産前産後休業や育児休業、出産手当金、育児休業給付、産休・育休中の社会保険料免除など、さまざまな制度の周知や情報提供を行い、安心して休業し円滑に職場復帰ができるよう担当職員を位置づける。

目標 ２ 管理職における女性労働者の割合を 50%以上継続し、女性がキャリアアップを図れる体制維持と働きやすい職場環境に努める。

３．財源の確保、他

（１）社協会費

社協活動を支える最も大切な自主財源である社協会費は、減少傾向が続いている。全世帯・区加入世帯数は前年度よりも増えているものの、一般会費は前年度比 97.1%であった。しかしながら、コロナ禍における経済状況の悪化がありながらも、賛助会費は前年度比 102.8%、特別会費 126.1%と多くの企業等の協力を得て増額することができた。今後も区・自治会を単位とすること近所福祉活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り会費収納増強につながると考える。

社協会費合計 11,232,874 円（前年度 11,491,280 円 対前年度比 97.8%）

① 一般会費（一世帯 700 円）

10,056,874 円（前年度比 97.1%）

納付率 44.6%（全世帯）・区加入世帯納付率 63.1%

（16,418 世帯分／36,830 世帯（全世帯）・26,000 世帯（区加入世帯）

[令和４年３月末現在]

令和２年度

納付率 45.2%（全世帯）・区加入世帯納付率 63.7%

（16,528 世帯分／36,571 世帯（全世帯）・25,930 世帯（区加入世帯）

② 賛助会費（一口 3,000 円） 241 件 967,000 円（前年度比 102.8%）

③ 特別会費（一口 5,000 円） 28 件 145,000 円（前年度比 126.1%）

④ 団体会費（一口 2,000 円） 20 件 64,000 円（前年度比 84.2%）

《地区別社協会費内訳》

地 域	一般会費		賛助会費		特別会費		団体会費		合計金額 (円)
	世帯数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額 (円)	
水 口	7,585	4,447,050	117	458,000	8	40,000	4	9,000	4,954,050
土 山	1,650	972,500	34	132,000	3	15,000	1	2,000	1,121,500
甲 賀	2,102	1,463,424	25	92,000	3	15,000	2	4,000	1,574,424
甲 南	2,311	1,547,700	24	80,000	5	25,000	2	4,000	1,656,700
信 楽	2,770	1,626,200	34	151,000	6	35,000	5	21,000	1,833,200
市全域	0	0	0	0	2	10,000	5	20,000	30,000
市外	0	0	7	54,000	1	5,000	1	4,000	63,000
合 計	16,418	10,056,874	241	967,000	28	145,000	20	64,000	11,232,874

（２）地域福祉基金

【本部福祉基金残高】 12,688,347 円（前年度 12,680,885 円）

【町別福祉基金残高】 甲賀地域 6,935,643 円（前年度 8,403,509 円）

甲南地域 420,735 円（前年度 861,973 円）

信楽地域 2,548,179 円（前年度 2,548,155 円）

（３）補助金・委託金の確保

令和３年度も甲賀市の市補助金やさまざまな事業の市委託金により法人運営部の人件費・事業費・運営費に充当しているものの、年々厳しい状況が続いている。今後も本会の地域福祉推進における社会的役割を市に伝えながら補助金・委託金の確保につなげたい。

特に生活支援体制整備事業や地域力強化推進事業を活用して、生活支援コーディネーターやご近所福祉コーディネーターの配置を行い、地域福祉を推進してきた。また、生活福祉課の相談事業として、家計相談事業や自立支援調整事業・学習支援事業や滋賀県社協からの補助金として、地域福祉権利擁護事業運営費も前年より若干増額が見られた。

また、今年度もコロナ関係で貸付事業対応が多く、滋賀県社協から生活福祉資金事務費としての増額が見込めた。

(4) 善意銀行の運営

① 善意銀行の預託・払出状況

(預 入) 【金銭】 54 件 3,780,749 円 【物品】 209 件

(払 出) 【金銭】 23 件 2,135,698 円 【物品】 209 件

《善意銀行の預託金銭内訳一覧》

地域	件数	金 額(円)
水 口	31	3,281,257
土 山	2	120,000
甲 賀	13	240,670
甲 南	4	23,000
信 楽	4	115,822
合 計	54	3,780,749

《善意銀行の払出内訳一覧》

種別	払い出し先	件数	金 額(円)
使途指定	法人運営部	1	11,037
	甲南地域福祉活動センター	1	3,000
	あんしんねっとセンター ケアプランセンターあい	1	8,000
	学習支援事業	1	10,000
	生活福祉資金貸付事業	1	91,855
	歳末支援事業	1	1,000,000
	e ころステーション	1	100,000
	e ころステーション甲賀	1	3,000
	在宅生活支援部	1	30,000
	デイサービスセンターすこやか荘	1	10,000
	訪問看護ステーション	1	30,000
	つちやま福祉作業所	1	20,000
	甲賀福祉作業所 つちやま福祉作業所	1	664,691
	子ども食堂ネットワークこうか	1	100,000
	生活支援ボランティアにんにんおたすけ隊	2	24,115
	スマイル甲賀大原っ子	5	15,000
	社会福祉法人甲賀学園鹿深の家	1	5,000
	スマイルきずな みんなくる会	1	10,000
	合 計	23	2,135,698

（５）中期ビジョンの策定

甲賀市地域福祉計画および甲賀市地域福祉活動計画の策定を受けて、甲賀市社会福祉協議会の今後３か年について、具体的なテーマで中期ビジョンを策定することとした。めざすべき甲賀市社会福祉協議会像・役職員像を明確にし、共有し、目標に向かって、全役職員が心ひとつに進んでいくことを目的として策定を行った。策定にあたり全職員から意見を聴取し、社協全体の課題となっている項目を整理し、課題解決のための取組方法などを検討し、案を作成し理事や評議員の意見もいただきながら、令和４年３月に完成となった。

令和４年度からは具体的テーマを分野ごとに整理し、さらに取り組み内容を分かりやすく整理し、年次計画を作成していく。

（６）水口社会福祉センター改修計画にかかる利用団体等への対応

① 改修計画の検討に伴うバリアフリー化に関するヒアリング

【開催日】９月１６日（木）

【場 所】水口社会福祉センター

【参加者】甲賀市身体障害者更生会役員、甲賀市住宅建築課・福祉医療政策課

【内 容】水口社会福祉センター本館改修に伴うバリアフリー化に関する意見交換

② 利用休止に関する説明会

【開催日】１月１７日（月）

【場 所】甲賀市福祉ホール

【参加者】２１団体 ２５人

【内 容】甲賀市福祉ホールおよび水口社会福祉センターの改修について
工事期間中の活動場所等について
備品等の搬出・保管場所について

③ 貸館休止期間中の代替活動場所への利用申請手続き支援（調整・案内）

【対象施設】甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」

水口中央公民館他

【対象団体】貸館を利用していた団体で、利用料の減免を受けることができない
ボランティアグループならびにサロングループ

【対応内容】利用申請手続きの方法についての調整・案内

（７）苦情解決

社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、社協内に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員会を設置し、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人

の権利の擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図ることとしている。また、以下の苦情内容に対して解決改善を重ね、第三者委員への報告を行いさらに改善に努めた。

① 第三者委員会議

【開催日】11月25日（木）

【内 容】・令和2年度 苦情内容を説明
・第三者委員から意見聴取

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】第三者委員3人、会長、局長、法人運営部長、在宅生活支援部長、総務課長

② 苦情の集計（令和3年度 受付分）

【苦情件数】39件 （※複数の分類あり）

【苦情分類】ケアに関すること（8件）、駐車・運転マナー（6件）、職員の態度（2件）
社協会費・募金（4件）、その他（16件）

【想定要因】説明・情報提供不足（10件） 職員の態度（4件） サービス内容（2件）
駐車・運転マナー等（6件） その他（9件）

【要望内容】改めてほしい（26件） 話を聞いてほしい（3件） 回答してほしい（5件）
調べてほしい（4件）

※住民や利用者等に対する説明不足や職員の態度、マナー、会費や募金に関する苦情が多く、寄せられた苦情を職員一人ひとりがしっかりと受け止め、「苦情から学ぶ」という姿勢で、法人全体で改善していく。苦情に関してはその都度、申出された方に丁寧に説明を行い改善に努めた。

（８）役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加

① 新人職員研修

○テーマ「社協とは？」

第1回

【開催日】4月1日（木）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 管理職員

【対 象】令和3年度新規採用正規職員・嘱託職員・パート職員

【参加者】15人

第2回

【開催日】10月5日（火）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 管理職員

【対 象】令和3年度新規採用パート職員

【参加者】8人

○人事評価制度について

【開催日】4月1日（木）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 法人運営部管理職員

【対 象】令和3年度新規採用正規職員・嘱託職員

【参加者】7人

○テーマ「G-Suite 研修」（パソコンシステム）

第1回

【開催日】5月10日（月）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】法人運営部係長・システム担当者

【対 象】令和3年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】3人

第2回

【開催日】5月11日（火）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】法人運営部係長・システム担当者

【対 象】令和3年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】10人

②セカンドライフセミナー

【開催日】2月21日（月）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】西多社会保険労務士事務所 所長 西多正夫氏

【対 象】(1) 年度末に満年齢58歳以上に到達する正規職員

(2) 60歳以上65歳未満の嘱託職員

【参加者】5人

③ 人権研修

社協主催の人権研修は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

④ 交通安全職員研修

【開催日】10月～12月

【場 所】各センター・事業所

【内 容】DVD研修

【対 象】全職員（パート職員含む）

○テーマ 「交通安全職員特別研修Ⅰ」

【開催日】 11月10日（水） 11月17日（水）

【場 所】 甲賀自動車教習所

【講 師】 甲賀自動車教習所 教官

【内 容】 企業向け安全運転講習（実技）

【対 象】 令和2年10月14日～令和3年9月30日間に会用车による事故を起こした職員
および違反者のうち重大事故を起こした職員

【参加者】 4人

○テーマ 「交通安全職員特別研修Ⅱ」

【開催日】 11月25日（木）

【場 所】 水口社会福祉センター

【講 師】 滋賀県共済協同組合 深田主事

【内 容】 社協の事故傾向と保険料についての話
実技

【対 象】 令和2年10月14日～令和3年9月30日間に会用车による事故を起こした職員
および違反者のうち特別研修Ⅰに参加以外の職員

【参加者】 16人

⑤ セキュリティー研修

【開催日】 2月8日（火）～3月18日（金）

【場 所】 各センター・事業所

【講 師】 YouTube 動画配信研修

【対 象】 全職員（パート職員含む）

⑥ 労務管理リーダー研修

○テーマ コロナ禍における労務管理とトラブル事例

【開催日】 5月11日（火）

【場 所】 水口社会福祉センター

【講 師】 西多社会保険労務士事務所 所長 西多正夫氏

【対 象】 所属長以上の職員

○テーマ 改正育児介護休業法について

社会保険適用拡大および年金法改正について

【開催日】 3月18日（金）

【場 所】 水口社会福祉センター

【講 師】 西多社会保険労務士事務所 所長 西多正夫氏

【対 象】 係長以上の職員

《人権研修、会議（外部開催）への参加状況》

参加日	研修名・内容	実施場所
6/9（水）	甲賀市新就職者対象人権研修 「あなたが輝く働き方～ワークライフバランスと人権～」	水口社会福祉センター （オンライン開催）
7/14（水）	経営者トップ研修 「ハンセン病問題を追い続けて」	甲賀市まちづくりセンター まる一む
9/3（金）	企業トップクラス層を対象とした人権問題研修会	水口社会福祉センター （オンライン開催）
11/14（日）	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第1回ステップアップ連続講座・企人協会員従業員対象研修会合同開催 人権フォーラム「発達障がい者の雇用・就労支援と職場での発達障がいの気づきと課題解決のための支援」	水口社会福祉センター （オンライン開催）
12/8（水）	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第2回ステップアップ連続講座「新型コロナウイルス感染症と人権～新しいものは何もない、今こそ人権学習を～」	水口社会福祉センター （オンライン開催）
12/14（火）	企人協会員従業員対象研修会 「企業経営に求められる今日的な人権課題」	ヘルパーステーションつちやま （オンライン開催）
1/15（土）	部落解放研究第29回滋賀県集会 ＜配信動画＞ 「私からはじめる私たちの多様性社会」	水口社会福祉センター （オンライン開催）
1/29（土）	体験型：在宅現場における暴力・ハラスメントへの対応	ヘルパーステーションしがらき （オンライン開催）
2/4（金）	甲賀市障害者虐待防止研修会 「障害者虐待防止法の理解と虐待防止の実践」	各事業所 （オンライン開催）
2/24（木）	介護サービス事業所・施設管理者等研修会 「今、人権の潮流は・・・」	各事業所 （YouTube 配信）
3/18（金）	自殺対策研修会 自殺予防ゲートキーパーフォローアップ研修 「いのちの門番としてできること」	甲賀市役所

《交通安全運動の実施》

① 交通安全無事故無違反運動

【期 間】10月1日（金）～3月31日（木）

【対 象】甲賀市社会福祉協議会全事業所 全職員（正規・嘱託・パート）

② “4時からライト”点灯運動の実施

【期 間】9月23日（木）～3月21日（月）

③ 全国交通安全運動期間における通行車両への安全運転啓発

交通安全のぼり旗による通行車両への啓発（課長級以上）

【期 間】春と秋の全国交通安全週間の期間中

《安全衛生委員会の開催》 会場：水口社会福祉センター 会議室

対象：局長、部長、衛生管理者 1 人 安全衛生推進者 14 人

実施日	内 容
4/30（金）	・コロナに負けない心と体づくりについて ・事業場の巡視チェックについて ・安全衛生方針について
5/28（金）	・五月病について ・事業場の巡視チェックについて ・安全衛生方針について
6/25（金）	・新型コロナワクチン接種後の健康状況調査結果について ・労働基準監督署からのアドバイスについて 腰痛予防、職員自身の安全対策、作業マニュアル等
7/30（金）	・ワクチン接種後の副反応の比較について ・労働基準監督署からのアドバイスについて 腰痛予防、職員自身の安全対策、作業マニュアル等
8/27（金）	・食中毒予防の原則と 6 つのポイントについて
9/24（金）	・ブレイクスルー感染について
10/29（金）	・インフルエンザワクチンについて ・業務災害の関する再発防止策の検討
11/26（金）	・労働安全セミナーを開催 講師：労働基準監督署 監督官 テーマ「社会福祉施設における労働災害防止対策」
12/24（金）	・ストレスチェックと職場環境改善について ・労働基準監督所現地視察の状況について
1/28（金）	・ワクチンの 3 回目の接種について ・職員の健康診断、ストレスチェックの結果について
2/25（金）	・家族がコロナウイルスに感染した場合の対応について ・業務災害の関する再発防止策の検討
3/25（金）	・花粉症とコロナ感染について ・業務災害の関する再発防止策の検討 ・社協の交通事故（接触等）の発生状況と改善について

（９）新型コロナウイルス感染予防対応

① 特別有給休暇の付与

新型コロナウイルス感染症にかかる小学校等の臨時休業により、仕事を休まざるを得なくなった全職員（正規・嘱託・パート職員）に対して、特別有給休暇の付与を行った。
付与分については学校等休業対応助成金の申請を行い助成を受けた。

【期 間】 8 月～3 月（集計は 12 月末締切分まで）

【対 象】 正規：1 人 パート：1 人 計 2 人

【付与日数】 正規：1 日 パート：47 時間

【助 成 額】 53,449 円

② 新型コロナウイルス感染症予防に関する職員周知、感染防止対策等

- ・健康観察票の記入促し ・検温 ・手洗い ・アルコール消毒
- ・飛沫防止仕切り板の設置 ・マスク着用 ・咳エチケット等の励行
- ・公共交通機関の時差利用への働きかけ

③ 職員の外出（研修）・出張、イベント等について、延期、中止及びオンラインの活用

(10) 法人関係会議、行事への参加他

会議、行事名等	参加者
甲賀市地域福祉活動計画策定委員会	会長
甲賀市地域福祉計画策定審議会	会長
甲賀市移動販売モデル事業出発式	会長
甲賀市企業人権啓発推進協議会指導委員会	会長
甲賀市防災会議	会長
滋賀県共同募金会 役員研修会	会長
甲賀市地域安全安心ネットワーク会議	会長
甲賀市企業人権啓発推進協議会指導委員会	会長
滋賀県共同募金会 役員研修会	会長
甲賀市赤十字奉仕団連合会研修会	会長
甲賀地区更生保護女性会	会長
滋賀県共同募金会配分委員会	会長
甲賀市同和・人権事業促進協議会2021年度支部合同研修会	会長
甲賀市成人式	会長
滋賀県共同募金会評議員会	会長
土山地域田舎の防災フォーラム	会長、事務局長
県社協会長事務局長会議	会長、事務局長
甲賀市戦没者追悼式	会長、事務局長
赤い羽根共同募金メッセージ伝達式	会長、事務局長
甲賀圏域成年後見計画策定委員会	事務局長
子ども家庭支援ネットワーク協議会	事務局長
避難行動要支援者ネットワーク会議	事務局長
きょうされん40周年記念大会	事務局長

Ⅱ. ご近所福祉でまちづくり

1. 第3次甲賀市地域福祉活動計画策定

甲賀市に暮らすすべての人が、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けることができるよう、住民の暮らしの困りごとや地域の課題解決のために住民やボランティア、福祉関係機関・団体、行政などが協力し、福祉のまちづくりをすすめるため、令和3年度～令和6年度までを計画期間とした「第3次甲賀市地域福祉活動計画」を策定した。

基本理念 地域で共に生きる ～ご近所福祉でまちづくり～

基本方針 ①住民が主役の福祉のまちづくり

②専門機関・団体と活動者が連携を進める仕組みづくり

③住民のくらしの課題を解決するための体制づくり

【策定方法】 委員会方式

【委員会構成】 委員7人（各町ご近所福祉協議会代表者、災害福祉ネットワーク委員会代表者、甲賀市赤十字奉仕団会長、甲賀市民生委員児童委員協議会連合会会長）

【会議開催】 4月12日（月）、5月17日（月）、6月28日（月）、7月30日（金）、8月23日（月）、9月13日（月）※9月13日の委員会は文書決議

2. 地域（町）ご近所福祉推進協議会

第2次甲賀市地域福祉活動計画とそれに続く第3次甲賀市地域福祉活動計画に基づく4つのプロジェクトを推進するために、地域のニーズや実態に応じ、地域ごとに協議会を設置した。協議会のメンバーは、自治振興会や区自治会、また、各分野で活動をされている方などが集まり、地域の課題解決に取り組む自立した住民活動となるように支援した。

① 水口地域ご近所福祉推進協議会

【構成】6人（会長及び副会長2人 協議員4人）（民生委員児童委員協議会、NPO 団体、子ども食堂グループ、介護予防ミニサークル、eこころステーション水口、活動者）

【会議】定例会 概ね毎月1回 年間10回 その他 役員会（作業部会）年間8回

【活動内容および成果】

貴生川自治振興会とともに立ち上げた、見守り・支え合いネットワーク活動を中心に貴生川地域において、区自治会を中心とした見守り活動立ち上げに向けて支援を行った。また前年度末に実施したアンケート調査をもとに、活動者の課題や思いの共有を図り、ご近所福祉活動の町域の共通課題についてご近所福祉推進協議会において整理した。またその整理から、第三次地域福祉活動計画の水口地域の計画を作成することができた。

② 土山地域ご近所福祉推進協議会

【構成】11人（会長及び副会長2人 協議員9人）（自治振興会、民生委員児童委員、防災組織、福祉団体、ボランティアグループ当事者団体、行政など）

【会議】コア会議含め 年間 21 回

【活動内容および成果】

- ・高齢者自らが行うサロンの検討と実施
- ・「土土地域田舎の防災フォーラム」の実施
テーマ：福祉の視点による自主防災 12 月 5 日(日)
- ・広報誌の発行（土山がニコリの発行）
- ・福祉推進員研修会・情報交換会（共催）
福祉推進員員の役割、ご近所福祉推進協議会について、サロンで使えるゲーム

③ 甲賀地域ご近所福祉推進協議会

【構成】14 人（会長及び副会長 2 人 協議員 12 人）

（自治振興会、福祉関係団体、高齢者福祉施設、ボランティアグループ、行政）

【会議】コア会議含め 年間 24 回

【活動内容および成果】

- ・広報紙「ご近所福祉こうか」の発行（第 3 号）
- ・新型コロナウイルスワクチン接種予約の現状に関する意見聴取（5 月）
民生委員児童委員を対象に実施
- ・福祉資源マップ つながりひろがる福祉・こうかに関するアンケート調査（6 月）
前年度に発行した福祉資源マップに掲載したグループや団体を対象に実施
- ・新型コロナウイルスの影響によるサロンの活動状況に関する聞き取り調査（9 月）
高齢者サロンを対象に実施
- ・地域で共に生きる～住んでいてよかった～と思える福祉のまちづくり～（リーフレット）
の発行（3 月）
- ・第 4 回甲賀地域ご近所福祉フォーラム～with コロナ サロン活動のヒント～
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮して開催は中止したが、YouTube を活用した講演の動画配信やサロン活動をテーマとした資料配布を行った。

④ 甲南地域ご近所福祉推進協議会

【構成】17 人（会長及び副会長 3 人 協議員 14 人）（民生委員児童委員、区役員、地域福祉協議会、ボランティアグループ、おたっしや広場関係者、子ども食堂、行政）

【会議】年間 10 回 （役員会 年間 12 回）

【活動内容および成果】地域の課題把握や今後の方向性を協議

- ・広報紙（甲南ご近所福祉だより）の発行
第 2 次地域福祉活動計画の 4 年間のあゆみ
- ・第 3 次地域福祉活動計画 甲南地域の計画づくり
- ・第 3 次地域福祉活動計画で取り組む“災害にも強い地域づくり”を目指し、地域の実態把握のため自治振興会と協働しヒアリング調査を実施
※対象：自治振興会および各区自主防災組織（3 学区）

⑤ 信楽地域ご近所福祉推進協議会（信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会）

【構成】21 人（委員長及び副委員長 2 人 委員 19 人）

（区長、自治振興会、区健康福祉会、民生委員児童委員、福祉団体、生活支援ボランティアグループ、当事者団体、障がい者団体、行政、地域マネージャー）・平成 26 年 4 月に信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会として発足

【会議】年間 7 回（内オレンジカフェ開設に向けた部会 3 回）、コア会議 年 6 回

【活動内容および成果】

信楽地域内の子ども・子育て家庭・障がい者・高齢者等で日常的な見守りの必要な世帯の孤立化を予防するとともに、生活上の困りごとや緊急事態を早期に発見する見守りの仕組みづくりを各区・健康福祉会等の小地域単位で推進することを目的に、信楽地域全域の推進会議を各区・健康福祉会・自治振興会・各種団体等の代表者の参画を得て設置し協議を進めた。

令和元年度に立ち上がった生活支援ボランティアグループ「ほっと」と共に、見守り・支えあいの地域づくりを進めている。

- ・見守り・支えあい活動についての意見交換、協議検討
- ・各地区・団体等の見守りに関する活動について情報交換
- ・信楽地域見守りネットワーク活動アンケート実施、集計と報告書作成
- ・研修会（外出支援について）
- ・見守りささえあい活動学区交流会（年 2 回）
- ・Facebook による情報発信

見守りネットワーク活動に関する情報発信

3. 甲賀市災害福祉ネットワークセンター

第 2 次甲賀市地域福祉活動計画の「災害にも強い地域づくりプロジェクト」をもとに災害福祉ネットワーク委員会を組織し、本年度 4 月 1 日より「甲賀市災害福祉ネットワークセンター」を設置した。また、平常時は市民主体（事務局は社協）、災害時は社協主体として動ける体制づくりとして、「災害福祉ネットワーク協議会」を設置し協議を進めた。

① 甲賀市災害福祉ネットワーク協議会活動支援

【構成】委員 7 人

（災害福祉ボランティア登録者、区・自治会、自治振興会、地域福祉協議会自主防災会、防災士連絡会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、国際交流協会）※所属は重複

【会議】・毎月 1 回 定例委員会（11 回）

- ・毎月 1 回 委員長・事務局打ち合わせ（11 回）

【活動内容および成果】

- ・住民の暮らしと災害時の福祉課題（平常時・警戒時・災害発生時・復旧期・復興期）の整理
- ・平常時から進める災害福祉の取り組みとネットワークづくり
- ・甲賀市災害福祉ネットワークセンターマニュアルの作成

- ・甲賀市災害福祉ネットワークセンターチラシの作成と周知
- ・団体の連携の協議（赤十字奉仕団）

② 甲賀市赤十字奉仕団連合会 1 日研修会（講演）

【開催日】10 月 22 日（金）13:30～16:00

【内 容】全体進行 甲賀市災害福祉ネットワークセンター

○平常時の取り組み

「甲賀市災害福祉ネットワークセンターと平常時における活動について」

甲賀市災害福祉ネットワーク協議会 代表 中島仁史 氏

○災害時の取り組み

・「災害福祉ボランティアセンターの取り組みについて」

甲賀市災害福祉ネットワークセンター

・「災害時の福祉を視点にしたボランティア活動」

甲賀市災害福祉ボランティア登録者 中島教芳 氏

・「災害時の赤十字奉仕団の取り組み」

甲賀市赤十字奉仕団連合会 福西美智子 氏

○まとめのディスカッション

【場 所】あいの土山文化ホール

③ 甲賀市多文化防災会議への参画

会議

【開催日】12 月 22 日（水）

【内 容】グローバルセミナー及び訓練の実施について
オンライン開催

訓練

【開催日】3 月 13 日（日）

【内 容】災害時多言語情報センター設置運営訓練
オンライン開催

4. ご近所福祉活動の推進

（1）全体での取り組み

各地域福祉活動センターに生活支援コーディネーターを配置して、ご近所福祉活動の推進支援、個別や地域の課題解決支援に取り組んだ。コーディネーターはコミュニティとの関わりを通じた住民課題を具体的に解決する職員として、関係機関との連携やネットワークづくりなどの推進を行った。また、地域での見守り支えあい活動を推進するため、地域福祉活動センターにて支援活動を実施した。

① 子ども食堂開設支援・運営支援

子どもたちを地域で見守り育てる「子ども食堂」の開催支援を行った。また、子ども食堂ネットワークこうかの自主的な活動および各食堂を継続できるよう、それぞれの課題や情報共有の場として代表者会議を開催した。

令和3年度もコロナ禍により、従来のように集まって一緒に食事をするという活動することが難しい状況の中、子どもたちの課題が把握し相談や解決につなぐよう支援した。

	名 称	場 所
1	夢の学習 水口料理教室	鹿深ホール、綾野小学校
2	夢の学習 土山料理教室	土山開発センター、各公民館など
3	夢の学習 甲賀料理教室	各公民館
4	夢の学習 甲南料理教室	甲南町内公民館・小中学校
5	夢の学習 信楽料理教室	信楽町内公民館・小中学校
6	たんぽぽ食堂	伴谷公民館
7	アモーレ子ども食堂	虫生野会館
8	かしわざ「わいわい食堂」	柏木公民館
9	あやの子ども食堂	あやのみんなの居場所
10	smile door	虫生野会館
11	宇川みんなのはなまる食堂	宇川会館
12	こども食堂サボテン	牛飼公民館、貴生川公民館
13	みんなの食堂ひとやすみ♪ひとやすみ	名坂公民館
14	いろどり食堂	岩上公民館
15	子ども食堂てるてるぼうず	フリースペースKANAME（土山）
16	スマイル甲賀大原っ子	市営住宅大原団地集会所
17	ふか輪っこ	深川公民館
18	おいで！そまっ子運営委員会	杉谷公民館
19	池田団地みんなの食堂	池田団地自治会館

（２）水口地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいいきサロン活動支援

【対 象】60 ヲ所

【内 容】サロン開催に向けての相談支援及び内容検討

当日使用するレクリエーション用品の貸し出し

○懇談会開催

・高山区

【開催日】11月13日(土)

【場 所】高山区公民館

- 【内 容】地域での見守り支え合い活動実施に向けての検討
・貴生川3区
- 【開催日】1月17日（月）
- 【場 所】貴生川三区集会所
- 【内 容】地域の現状と見守り・支え合い活動について

② 自治振興会活動支援

地域福祉の推進を目指し、自治振興会との連携を図るとともに、地区地域福祉協議会の活動は、概ね自治振興会の福祉部門の活動として引き継がれているため、自治振興会役員会や部会、総会などに参加し、支援を行った。

○伴谷地域高齢者等移動支援検討協議会

- 【開催日】8月31日（火）
- 【場 所】水口交流センター 学習室
- 【内 容】移動支援事業実施に向けての検討及び実証運行について
- 【参 加】公共交通推進課長・政策推進課長補佐・長寿福祉課長・伴谷地域市民センター長・社協・30年度、令和元年度区長会長・副会長・区長3人・民生委員児童委員2人・伴谷老人クラブ・福祉部会長・事務局長

○貴生川地区自治振興会

- ・見守り・ささえあいネットワーク 全体会 年3回
各班分けを行い、貴生川地区の推進の体制づくりを行う。
- ・見守り・ささえあいネットワーク 理事会 年8回
進め方について、コアメンバーにより詳細の打合せを行う。
- ・ご近所福祉研修会 1回
ご近所福祉活動の必要性と他地域の見守り支え合い活動について講演

③ その他支援活動など

○J Aゆうハート つない手地域福祉連携会議

- 【開 催】コロナ禍のため資料配布・協議のみ
- 【内 容】事業所の活動状況の報告・評価・必要な要望助言等

○そまの里運営推進会議

- 【開 催】コロナ禍のため資料配布・協議のみ
- 【内 容】事業所の活動状況の報告・評価、地域との連携

○わくわくキッズ 理事会

- 【開催日】①5月20日（木）②6月1日（火）③11月4日（木）④2月17日（木）
- 【場 所】わくわくキッズ 事務所
- 【内 容】事業内容の報告・方向性
- 【参 加】理事14人・職員4人

(3) 土山地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○地区福祉懇談会および地域活動支援

【対 象】住民（民生委員児童委員・福祉推進員など）

【参 加】社協延べ3人

【開 催】西野区

② ご近所福祉研修

○福祉推進員・サロンスタッフ研修

【開催日】10月2日（土）

【内 容】福祉推進員の役割、サロンで使えるビンゴゲーム
サロンで使えるレクリエーショングッズについて

【場 所】老人福祉センターフィランソ土山

【参 加】21人、社協2人

③ 自治振興会活動支援

○土山学区自治振興会

地域福祉部会議 3回

④ 居場所づくり

○「おいでスマイル」

【趣 旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・お昼ご飯づくりなどを通して、楽しさや生きがいをもてる居場所とする。

【開 催】毎月1回（不定期）

【内 容】昼食づくり、ゲーム、おしゃべりなど

【場 所】土山町内の空き家

【参 加】延べ人数120人 社協延4人

○障がい児の居場所 「ほっとケーキ」

【趣 旨】障がい児の長期休暇中の仲間づくり・居場所づくりを通して、障がい当事者同士と保護者同士のつながりをつくる。

【開催日】8月8日（日） 1月7日（金） 3月24日（木）

【内 容】保護者交流、ビンゴ大会、水遊び、おもちゃ解体

【場 所】フィランソ土山

【参 加】延べ人数28人 社協延べ3人

○子どもの居場所「みんなで楽しもう会」

【趣 旨】学校が終わった後の子どもの遊び場づくり、地域のボランティアや保護者との交流の場

- 【開催】年4回
- 【内容】屋内ゲーム、七夕飾り作り、クリスマス会、卒業生を送る会
- 【場所】清和会館
- 【参加】延べ人数約100人
- 【協力】民生委員児童委員、ボランティア、保護者など

（４）甲賀地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロンの運営支援

【対象】27か所

【内容】サロンの運営に関する相談支援のほか、
物品の貸出しやコーディネートを行った。
サロンの目的・効果、サロン運営に関するポイント等を記載したチラシ配布

○子ども食堂の運営支援

【対象】1か所

【内容】運営に関する相談支援を行った。

○eこころステーションの運営支援

【対象】1か所

【内容】運営に関する相談支援を行った。

○女性のつながりサロンの運営支援（令和4年1月より立上げ）

【対象】1か所

【内容】立上げに向けた協議に参加したほか、運営に関する相談支援を行った。

○甲賀市移動販売実施に伴う各地域での居場所づくり支援

【対象】16か所

【内容】現地での状況調査および民生委員や区役員への聞き取りの実施

○サロンアンケート調査の実施

甲賀地域のサロンの現状について、サロン代表者・スタッフ・対象者の3者に分けて調査。今後のサロン運営支援に活かしていく。

【対象】甲賀地域のサロン26か所

② 甲賀地区社協（基金運営委員会）活動

○甲賀地区社協（基金運営委員会）の開催

【開催日】3月15日（火）

【内 容】令和3年度地域福祉基金の運用報告について
今後の方針について

○地域福祉組織化助成事業（地域福祉基金充当）

【趣 旨】甲賀地域の福祉向上のため、区・自治会の健康福祉社会活動へ助成を行う。

【対 象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会

【助成額】30,000円

【実 績】19件（櫛野、神、大原上田、大久保、拝坂、鳥居野、相模、大原市場、高野、油日、上野、田堵野、滝、毛枚、和田、五反田、神保、隠岐、岩室）

○福祉関係団体助成事業（地域福祉基金充当）

【趣 旨】甲賀地域の福祉向上のため、甲賀町内を拠点に活動する福祉関係団体が行う主体的な活動に対して助成

【対 象】甲賀町内を拠点に活動する福祉団体

【助成額】地区社協（基金運営）にて決定する

【実 績】団体（ゆうゆう甲賀クラブ・身体障害者更生会・更生保護女性会・赤十字奉仕団ボランティアグループささえ愛・ほのぼのグループ・民生委員児童委員協議会）

③ その他支援活動など

○人権推進協議会甲賀支部への参加

【参 加】①7月14日（水） ②10月8日（金） ③12月7日（火）

【場 所】かふか生涯学習館

【内 容】部会会議

○甲賀荘地域密着型介護サービス運営推進会議への参加

【参 加】11月17日（水）

【場 所】小規模多機能ホームあかり

【内 容】事業所の活動状況の報告・評価、地域との連携

（５）甲南地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン運営支援

【対 象】おたっしや広場 44か所

【内 容】おたっしや広場の活動・運営相談支援、物品の貸し出し
おたっしや広場イベント時の主催者の相談及び支援
コロナ禍で集まることができない中、新たな見守り活動等の啓発

○子育てサロンの運営支援

【対 象】子育てサロン 2 か所

【内 容】子育てサロンの新規開設活動・運営支援・おもちゃ等の貸し出し
助成金申請支援等

○障がい児者の居場所づくり支援

【対 象】スマイルきずなサロン

【内 容】運営に関する相談・支援、サロン開催の調整

○地域の居場所づくり支援

【対 象】ニューポリス区、ふか輪っ子、おいでそまっ子、池田団地区

【内 容】地域福祉活動計画のプロジェクトに沿い、住民同士が交流し、お互いの顔が見える居場所づくりができにくい中、三密・換気・消毒・アクリル板等を活用して継続した運営支援、また、新たな活動として生活支援や子ども食堂開催支援

○フードバンク事業および学習支援など

【対 象】池田団地区

【回 数】19 回

【配 布】 340 件

○救急医療情報キット（命のバトン）配布事業 （地域福祉基金充当）

甲南地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーを併せて甲南町民生委員児童委員協議会との共催により配布を実施した。

【対 象】希望する全ての世帯独居高齢者、高齢者世帯、障がい者、その他区・健康福祉会が必要と認めた世帯

【配布方法】各区の区組織、自治振興会、健康福祉会が民生委員児童委員と連絡調整の上配布

【配布数】配布数 210 セット

② 自治振興会活動支援

地域福祉の推進を目指し、自治振興会との連携を図るとともに、自治振興会役員会や部会などに参加し支援を行った。

○甲南第一自治振興会

【開催日】①10月18日（月） ②2月23日（水）

【場 所】甲南地域市民センター

【内 容】①まちづくり部会の現状及び今後の進め方
②自主防災プロジェクトチーム

【参 加】①自治振興会役員・民生委員児童委員・ご近所福祉推進協議会・社協 13 人

②区長・防災士・消防団班長・ご近所福祉推進協議会・社協 11 人

○南杣自治振興会

【開催日】①6 月 3 日(木) ②11 月 3 日(水) ③12 月 27 日(月) ④2 月 10 日(木)

【場 所】杉谷公民館

【内 容】①南杣フードバンクの進め方

②・③おいでそまっ子「子ども食堂、食料支援」

④ご近所福祉推進協議会の取組み（災害にも強い地域づくり）

【参 加】①地域マネジャー・社協 3 人

②・③自治振興会スタッフ・子ども・社協 子ども 110 人、スタッフ 30 人

④自治振興会三役・区長・社協

○宮地区自治振興会

【開催日】2 月 24 日（木）

【場 所】甲南第三地域市民センター

【内 容】ご近所福祉推進と地域防災について

【参 加】自治振興会役員・市民センター・社協 6 人

○希望ヶ丘学区まちづくり協議会

【開催日】8 月 26 日（木） 8 月 30 日（月） 9 月 27 日（月）

【場 所】希望ヶ丘防災コミュニティーセンター

【内 容】ご近所福祉事業運営について

【参 加】まちづくり協議会役員・市民センター・市・社協 10 人

○小規模多機能型居宅介護 JA ゆうハート「むすん手」地域連携会議への参加

【開催日】5 月 26（水） ※コロナウイルス対策のため 7 月、11 日中止

【内 容】地域（各区自治会）への参画・連携について

むすん手と地域との協力について

【対 象】職員、区長、老人会会長、民生委員児童委員、社協

○看護小規模多機能型居宅介護「そまの音」運営推進会議への参加

【開催日】5 月 31（月） 7 月 12 日（月） ※コロナウイルス対策のため 9 月中止

【内 容】地域（各区自治会）への参画・連携について

【対 象】職員、区長、民生委員児童委員、包括支援センター、社協

○グループホーム「そまがわ」運営推進会議への参加

【開催日】7 月 28（水） 11 月 24 日（水）

※コロナウイルス対策のため 9 月、1 月、3 月中止

【内 容】地域（各区自治会）への参画・連携について

【対 象】職員、区長、民生委員児童委員、包括支援センター、社協

(6) 信楽地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援事業

子育てサロン、障がい者サロン、高齢者サロンの活動内容等について、各地区福祉推進員やボランティア、当事者の相談に対応した。

○救急医療情報キット（命のバトン・マグネットホルダー）配布事業（地域福祉基金充当）

信楽地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、信楽町民生委員児童委員協議会との共催、信楽町区長会の協賛により、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーの配布を実施した。

② ご近所福祉研修

○勅旨区健康福祉会

【開催日】4月14日（水）

【内 容】健康福祉会と福祉推進員の役割について

【場 所】勅旨会館

【参 加】10人

○多羅尾見守り安心の輪

【開催日】6月10日（木）

【内 容】コロナ禍における見守り活動について（アンケート結果を元に）

【場 所】多羅尾公民館

【参 加】18人

③ ご近所福祉ネットワーク支援

○各区、健康福祉会、自治振興会等 見守り・支えあい活動支援

【内 容】見守り会議等

支援先	内容	支援回数
多羅尾見守り安心の輪	見守り会議等	2
勅旨区健康福祉会	全体会議、小会議	3
牧区健康福祉会	全体会議、見守り訪問会議等	2
西健康福祉会	見守り会議等	2
杉山見守りネットワーク	見守り会議等	1
ほそはら見守りの会	見守り会議等	1

○見守り・声かけネットワーク活動助成事業（地域福祉基金充当）

【趣 旨】信楽地域において見守りネットワーク活動を推進するため、信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会が信楽地域福祉基金により助成を行う。

【対 象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会。

【助成額】区あたり 20,000 円+戸数×100 円×3 年

【実 績】※令和 3 年度は実施実績なし

④ その他支援活動など

《社会的ひきこもり当事者支援活動》

○信楽だんだん畑(本人活動)

【趣 旨】社会的ひきこもりの状態にある若者の仲間づくり・居場所づくり・することづくりを通して、自分の目標に向かう一歩を踏み出す機会とする。

【開 催】※令和 3 年度はコロナ禍のため不定期開催

【内 容】今後に向けての話し合いや発達障がいや趣味、好きなことについての情報交換、野菜作り、ミニスポーツなど

【場 所】信楽開発センター、畑（牧地区）

【対 象】5 人

【協 力】民生委員児童委員、主任児童委員、信楽地域包括支援センター、甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』、精神障がい者支援グループ親友会、畑作業指導者など

○滋賀の縁創造実践センター「ひきこもり等の支援」甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』運営会議

【趣 旨】人とのつながりをもちづらい方や、ひきこもりがちな暮らしをしている方、その家族に、「現行の福祉サービスでは届けられない支援を届ける」ことを目指し、地域の支援関係者ととともに取り組みをすすめる。

【内 容】甲賀市／湖南市ひきこもり一斉電話相談、情報交換など

【回 数】2 回

（７）生活支援体制整備事業

各地域福祉活動センターに第 2 層生活支援コーディネーター（5 人）と、地域福祉課に第 1 層生活支援コーディネーター（1 人）を配置し、各地域に第 2 層協議体（5 か所）を設置して、高齢者への個別相談援助を実施するとともに、住民主体のご近所福祉活動の推進支援を行うことにより、支援を要する高齢者に対する見守り・支えあいによる暮らしの困りごとの解決支援や、高齢者自身による活動の場の運営協力を行い生きがいを進めた。

甲賀市が実施する買い物・移動が困難な高齢者への移動販売モデル事業について、市内各地の販売場所への状況確認と担当課への情報提供、事業者との打ち合わせ等、運営協力を行った。

①生活支援コーディネーターの活動、支援実施等

【活動件数】 1,215 回

(令和 2 年度 1,789 回、令和元年度 1,643 回、平成 30 年度 1,863 回)

【総稼働時間】 1,830 時間

(令和 2 年度 2,547 時間、令和元年度 2,733 時間、平成 30 年度 3,133 時間)

②生活支援・個別支援ボランティア活動への展開

1) 生活支援ボランティア活動支援

【グループ名】生活支援ボランティア「つなぎの輪」

【内 容】土山町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの窓口業務、活動調整、関係機関との連携、事務的支援、初回訪問時の同行など

【グループ名】生活支援ボランティアにんにんおたすけ隊

【内 容】甲賀町内在住の高齢者等への生活支援ボランティア。相談窓口としての受付、初回訪問同行、活動調整、関係機関との連携、その他事務的支援など

【グループ名】生活支援ボランティア「すぷーん」

【内 容】甲南町内在宅高齢者等への初回訪問同行、依頼者や関係機関との活動調整、事務的支援、他地域への講師調整 等

【グループ名】生活支援ボランティア“ほっと”

【内 容】信楽町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの活動調整、関係機関との連携、事務的支援（助成金申請含む）など

2) 傾聴ボランティアグループ活動支援

【グループ名】よりそい

【内 容】甲賀市内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ、学習会開催、訪問調整

【グループ名】傾聴ボランティアグループ「あい・あい」

【内 容】水口町内在住高齢者等への傾聴ボランティア打ち合わせ、訪問調整

【グループ名】ほほえみ会

【内 容】土山町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

【グループ名】傾聴ボランティアつながり会ビーズ

【内 容】甲賀町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

(8) 重層的支援体制移行準備事業

※受託事業名は我が事・丸ごとの地域づくり事業

①令和4年度からの重層的支援体制整備事業実施のための移行準備の取り組み

地域共生社会の実現を目指し、関係機関と住民、福祉活動者が連携して個別支援や地域づくりに取り組む重層的支援体制整備事業の移行準備として、複合的な課題のある要支援者や世帯に対し、支援会議や重層的支援会議、SWによる伴走的支援を行った。

【相談受付件数】 13 件

【相談元】

- ・地域包括支援センター（水口、甲南、信楽）
- ・甲賀市生活支援課
- ・甲賀市人権推進課
- ・甲賀市教育委員会学校教育課
- ・地域福祉活動センター（甲賀、甲南、土山）
- ・甲賀荘居宅介護支援事業所

【支援会議・重層的支援会議実施件数】

- ・支援会議： 12 回（ケース数 8）
- ・重層的支援会議： 1 回
- ・会議参加機関

《外部支援機関等》

- ・甲賀・湖南成年後見センターばんじー
- ・甲賀荘居宅介護支援事業所
- ・地域定着支援センター
- ・高次脳機能障害支援センター
- ・ケアプランセンターしがらき
- ・ケアプランセンターぬくもり
- ・LOVE&PEACE Pray
- ・県動物愛護推進員

- ・滋賀県動物保護管理センター

《庁内関係機関》

- ・子育て政策課家庭児童相談室
- ・障がい福祉課
- ・長寿福祉課
- ・政策推進課
- ・生活環境課
- ・住宅建築課
- ・地域包括支援センター（水口、土山、甲賀、甲南、信楽）
- ・すこやか支援課地域包括支援室
- ・生活支援課
- ・福祉医療政策課共生社会推進室
- ・甲賀市社会福祉協議会

【ケースの概要】（検討したケース：8 件）

《世帯構成》

- ・単身世帯： 2 件
- ・夫婦のみ： 2 件
- ・母子世帯： 1 件
- ・兄妹のみ： 1 件（本人・妹）
- ・その他： 2 件（本人・姉・甥）、（本人・子・元妻）

病気 依存症	障 害	介 護	住 居	経済 困窮	多重 債務	家計 管理	就労 困難	孤 立	ひき こもり	家族 関係	DV 虐待	刑余 者	多頭 飼育
6	6	4	9	4	2	3	3	4	1	4	1	1	1

【支援会議を開催することで得られた成果】

- ・参加した構成員の積極的な発言や提案により、本人を中心においた支援につながった。
- ・互いに、支援できてない部分を否定することや、支援を押し付け合うようなこともなかった。
- ・すぐに課題解決につながらなくても、支援会議にあげることで、今まで抱えていた精神的負担が軽減したといった声があった。
- ・かつての制度では、急を要する住まい探し、出所者の地域定着など関わるのが難しかった隙間の困りごとにも、「伴走支援」として関わることができた。
- ・個別の課題を話し合うだけでなく、それが地域課題だとして、新たな取組が創出される動きがみられた（多頭飼育への対応など）。

② 多機関協働事業、アウトリーチ事業、参加支援事業の準備

令和4年度より受託する多機関協働事業・アウトリーチ事業・参加支援事業のための関係機関との調整、市担当課との協議、体制整備を行った。

5. 地域活動推進助成事業

(1) ご近所福祉活動助成

(共配) (社協会費)

【趣 旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、区・自治会単位で住民が主体的に実施する見守りや支えあい活動、ふれあいいきいきサロン活動等を推進するため、自治会や地域福祉組織が行う主体的な活動について助成を行う。

【助成対象】健康福祉会、区・自治会、地域福祉推進協議会など

【助 成 額】前年度の社協会費・赤い羽根共同募金取りまとめ額に2割を乗じた額を限度とする。

【助成実績】118件 2,515,000円

ご近所福祉活動助成一覧（地域別）

地 域	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)
水 口	43	951,000	53	1,121,000	75	1,841,000
土 山	18	166,000	19	200,000	35	462,000
甲 賀	19	469,000	17	416,000	23	672,000

甲 南	23	521,000	20	525,000	25	738,000
信 楽	15	408,000	17	455,000	19	531,000
計	118	2,515,000	126	2,717,000	177	4,244,000

※コロナ禍の関係で地域活動を中止する区・自治会が多く見られた。

(2) ふれあいいきいきサロン支援・助成事業

(社協会費) (共配)

○ふれあいいきいきサロン活動助成

【趣 旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、地域住民が主体的に開催するふれあいいきいきサロン事業に対して助成を行う。

【助成対象】家で閉じこもりがちな支援を必要とする人を対象に住民同士の見守りと支えあいを目的として継続的に実施される地域の中の居場所づくり活動に対して助成

【助 成 額】 年 12 回以上の開催サロンに年額 18,000 円
年 6 回以上の開催サロンに年額 9,000 円

【助成実績】 145 カ所 2,340,000 円
(令和 2 年 ➡150 カ所 1,800 回 2,448,000 円)
(令和元年 ➡181 カ所 2,936 回 3,924,000 円)
(平成 30 年 ➡185 カ所 2,957 回 4,020,000 円)

ふれあいいきいきサロン助成内訳 (地域別)

地 域	地域サロン数	助成額 (円)
水 口	46	792,000
土 山	18	279,000
甲 賀	21	351,000
甲 南	40	639,000
信 楽	20	279,000
計	145	2,340,000

○広域ふれあいいきいきサロン活動助成

(共配)

助成対象団体	助成サロ ン数	総金額 (円)
みんなくる会、広域サロンおいでおいで、スマイルきずな、子育て広場わのわのわ、のびのび会、ほのぼのグループ、あくていふ紫香楽、ボランティアグループささえ愛、スマイル甲賀きらきらサロン、ボランティアグループてとら	10	171,000
合 計	10	171,000

6. 当事者支援

(1) 子育て支援

○子育てサロンの運営支援（甲賀地区）

大原市場区、鳥居野区、油日学区

○子育てサロンの運営支援（甲南地区）

ニューポリス区、第二学区、第三学区、耕心区

○支援対象児童等見守り強化事業

（市受託）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、それまで見えていた子どもたちの状況が見えにくくなっている中、子どもたちの見守りの強化を図るため、地域活動の中での「気づき」を専門機関（家庭児童相談室等）につなげる事業を行った。

今年度は、学習支援での子どもへの声かけや、子ども食堂開設団体との連携による開催時での声掛けや訪問による気になる児童や家庭の把握、eこころステーションとひとり親家庭の会との連携による気になる家庭の把握や声掛け、地域活動における声掛けを中心に把握を行い、専門機関へとつないだ。

（人）

月	児童数	月	児童数
4 月	38	10 月	63
5 月	31	11 月	49
6 月	43	12 月	439
7 月	33	1 月	44
8 月	43	2 月	41
9 月	61	3 月	78
		合 計	963

(2) 高齢者支援

（共配）

① ひとり暮らし高齢者実態調査・命のバトン配付・見守り

【目 的】市内に在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯が安心して暮らせる健康福祉のまちづくりをめざし、安否確認、実態把握調査をするとともに救急など非常時に備えた。

【内 容】市内のひとり暮らし高齢者世帯へ、民生委員児童委員が訪問し、調査を行い、希望者に救急情報用紙の入った「命のバトン」を配付した。

【対 象】甲賀市内に住む 65 歳以上のひとり暮らし高齢者

【協 力】甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市内 65 歳以上ひとり高齢者暮らし世帯実態調査

（人）

	令和 3 年	令和 2 年	令和元年	平成 30 年	平成 29 年
水口	1,015	958	943	888	882
土山	266	275	232	225	205
甲賀	315	286	284	258	256
甲南	528	515	491	488	449
信楽	428	429	504	482	460
合計	2,552	2,463	2,454	2,341	2,252

② 移送サービス事業（市受託）

外出移動が困難な方の通院の際にリフト付きの移送サービス専用車両により送迎する。

移送車両は水口に置き、専用の車両 1 台を運行した。

○対象者数（町別・区分）

（人）

町名	令和 3 年		令和 2 年	
	対象者数	延利用者数	対象者数	延利用者数
水口町	3	26	3	34
土山町	6	114	6	121
甲賀町	8	104	8	471
甲南町	5	72	5	211
信楽町	3	50	3	44
合計	25	366	25	881

（３）障がい者支援等

①土山地域の障がい者グループホーム設立についての経緯と協議

平成 28 年 11 月に子どもが作業所に通所されている保護者から、土山地域に障がい者のグループホーム設立に向けて相談と共に嘆願書を受けていた。社協としてはグループホーム立ち上げについては協議が必要なため、ボランティアと共に地域サロンなどの開催を進めていた。その後、グループホーム設立に向けての検討の場は設けていたものの、具体的な方向性が出ない中、令和 2 年 9 月に保護者から再度甲賀市社協でグループホーム立ち上げについて依頼があった。

（結果）

グループホーム事業を甲賀市社協が行うことについて、職員間や障がい関係の機関、三役会・理事会等でも協議を重ねた結果、既存のグループホーム事業を運営している事業所に依頼し土山地域でのグループホーム設立に向けて検討して貰えるよう協議を重ねた。

ただし、既存の事業所での運営が困難となったため、改めて今後継続検討することとなる。

○【開催日】5 月 17 日（月）

【内 容】計画相談支援事業所 13 ヲ所へアンケート

○【開催日】6 月 25 日（金）

- 【内 容】NPO 法人ここねっと、さわらび作業所と 3 者で会議。アンケート結果など
- 【開催日】9 月 2 日（木）
- 【内 容】NPO 法人ここねっと、さわらび作業所と物件の下見
- 【開催日】11 月 19 日（金）
- 【内 容】NPO 法人ここねっと理事会へ、アンケート結果や今後のことについて正式に協議依頼
- 【開催日】3 月 31 日（木）
- 【内 容】NPO 法人ここねっとより、理事会において運営法人となることができないことの連絡

7. 団体支援

（１）甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

内 容	回数
理事会（定例）	12
全員研修会 ※コロナ禍により中止	0
専門部会長会議	1
専門部会研修	3
理事県外研修 ※コロナ禍により中止	0
会計監査会	3
総会 ※コロナ禍により書面決議	1
事業計画・予算検討会議	2
特別事業（啓発映画）※コロナ禍により中止	0

○各町民生委員児童委員協議会

水口	内 容	回数
総務部会		12
全員協議会		4
総務部会・専門部会合同会議		3
地区民生委員児童委員協議会（水口・岩上）		6
地区民生委員児童委員協議会（綾野）		7
地区民生委員児童委員協議会（柏木）		7
地区民生委員児童委員協議会（伴谷）		7
地区民生委員児童委員協議会（貴生川）		7
各部会別研修		3
監査会		1
四役会		3
広報紙編集発行 16,000 部		1

土山	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会		11
三役会		12

各種研修会	2
高齢者福祉部活動	1
障害者福祉部会 作業所支援	7
児童福祉部会活動	3
人権研修	2
県外視察研修	0
ひとり暮らし高齢者等実態調査、他	1
広報紙編集発行 2,500 部	1

甲賀	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会		8
三役会		12
専門部会		2
児童福祉部会研修		1
生活福祉部会研修		1
障がい者福祉部会研修		1
人権福祉部会研修		1
高齢者福祉部会研修		3
広報委員会		3
広報紙編集発行 3,300 部		1
施設奉仕作業（鹿深の家 福祉梅林）		2
監査会		1
救急医療情報キット（命のバトン）配布事業		通年

甲南	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会 会議		10
役員会		2
全体研修研修「コミタク、ゲートキーパー、認知症サポーター養成講座」		3
高齢者福祉部会「DVD 相談の基本」		2
障がい者福祉部会研修「やまなみ工房」		1
広報委員会		5
広報紙編集発行 7,000 部		1
地域見守りマップ作成支援		通年
三役会		12
監査会および決算会計事務処理支援		3

信楽	内 容	回数
全員協議会（各部会研修会）		2
役員会（三役会・役員会）		12
正部会長会		1
会計監査		1
地区民児協（4 地区民児協）		12
部会（人権福祉部会）		2
救急医療情報キット「命のバトン」配布事業		通年
広報紙編集発行 3,900 部とスマホ研修		3

(2) 介護者の会

○介護者の会（当事者団体）支援（全体）

【内 容】総会（書面決議）、役員会、研修会の開催

※合同サロンはコロナ禍により中止

【開 催】11回

【参 加】延べ55人

【広報発行】年1回（R4.3月VOL.16発行 編集・配布支援 枚数2,000部）

○介護者サロン開催支援

	開催日 13:30～15:30	内 容	場 所	回数	参加 人数
水口	毎月第3水曜日	交流会（意見交換、相談）、施設見学、研修会	水口社会福祉センター	10	64
土山	毎月第3金曜日	懇談・相談・リフレッシュ・交流会	フィランソ土山など	5	64
甲賀	毎月第4水曜日	懇談・相談・体操・フラワーアレンジメント	かふか生涯学習館	4	27
甲南	毎月第2木曜日	懇談・相談・リフレッシュ・茶話会・料理教室	甲南地域市民センター3階	10	81
信楽	毎月第3水曜日	情報交換、意見交換、研修会、交流会等	信楽開発センターなど	7	64
認知症 介護者	毎月第1水曜日	懇談・相談	佐山荘など	休止	0
男性 介護者	毎月第1木曜日	懇談・相談	水口社会福祉センターなど	休止	0

(3) その他団体支援

○赤十字奉仕団 ○遺族会 ○身体障害者更生会 ○手をつなぐ育成会

○ゆうゆう甲賀クラブ ○更生保護女性会

8. 福祉センター等指定管理事業

(1) 社会福祉センター管理・運営事業

①水口社会福祉センター（貸館状況） 年間 172 団体・4,747 人

- ・Vセンター 延べ利用 50 団体 ・中会議室 延べ利用 49 団体
- ・身障研修室 延べ利用 45 団体
- ・相談室A 延べ利用 15 団体 ・相談室B 延べ利用 13 団体

②甲賀市福祉ホール（指定管理）（貸館状況） 年間 72 団体・14,469 人

1) 利用料免除

・開館日数 360 日 ・利用日数 120 日 ・延べ利用団体 43 団体
 2) 有料
 ・開館日数 360 日 ・利用日数 86 日 ・延べ利用団体 29 団体

(2) 老人福祉センター碧水荘（水口）

〈利用者状況〉

【開館日数】 年間 231 日

【延べ利用者数】 年間 2,473 人 （一般来館者含む）

〈自主サークル〉 18 サークル 開催回数 307 回 延べ参加人数 2,327 人

	教室名	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
1	水口陶芸	第2・4 木曜日	各種陶芸の講義と実習	23	231
2	陶芸 A	第1 水曜日	高度の陶芸実習	11	85
3	陶芸 B	第3 水・木曜日	高度の陶芸実習	22	156
4	書道	第1 金曜日	楷書・行書の練習	11	82
5	茶道	第2・4 火曜日	ふくささばきとお盆点前	21	160
6	音楽	第1・3 月曜日	コーラス・ハンドベル	18	153
7	表装	第2・4 金曜日	各種表装の実習	16	89
8	将棋	第2・3・4 火曜日	将棋の実践と戦い方	33	203
9	デジカメ	第1・3 木曜日	デジカメ写真撮影基本	20	227
10	絵手紙	第2・4 金曜日	絵手紙の描き方	17	148
11	絵画 A	第2・4 水曜日	絵画のデッサン	11	82
12	絵画 B	第1・3 水曜日	絵画のデッサン	22	161
13	いけばな	第1 木曜日	生け花の活け方	10	84
14	ハワイアンダンス	第1・3 月曜日	ハワイアンダンス	22	141
15	パッチワーク	第1 金曜日	パッチワーク	6	46
16	デコパージュ	第3 水曜日	デコパージュ	10	53
17	エアロビ	第2・3・4 木曜日	エアロビ	27	177
18	ちぎり絵	第2 水曜日	ちぎり絵	7	49
計				307	2,327

＜その他事業＞ 開催回数 33 回 延べ参加人数 146 人

	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
体験教室	11 月～12 月 ※開催日各サークルで決定	書道、音楽、将棋、 デジカメ、絵画A、 ハワイアンダンス	20	(14)
代表者会議	4/6 日(火) 1/24 (月)	活動内容の検討等	2	40
消防訓練	10/21(木) 3/10(木)	避難、通報、消火訓練 防災教育	2	29
奉仕作業	6/18(金) 12/23(木)	日赤奉仕団 陶芸友の会	2	36
打合せ他	6/9 日(水)、他	日赤奉仕団、陶芸友の会 他	7	41
計			33	146

() サークル延べ参加人数に含む

(3) 老人福祉センターフィランソ土山

＜利用者状況＞

【開館日数】年間 219 日 【延べ利用者数】年間 3,609 人

＜利用状況＞

○地域の活動の拠点

土山町民生委員児童委員協議会の定例会、研修会、ご近所福祉推進協議会定例会、
研修会、ゆうゆうクラブ土山支部、土山学区ゆうゆうクラブ、土山町赤十字奉仕団、
土山町更生保護女性会、土山町遺族会、各サークル、子ども食堂、ボランティアグルー
プの活動拠点として、各種研修会の会場として

○ボランティアセンター機能

社協ボランティアセンターの窓口として位置づけ

○おもちゃ、本などの貸し出し

(4) 老人福祉センター佐山荘（甲賀）

＜利用者状況＞（社協事業は除く）

【開館日数】年間 149 日 【延べ利用者数】年間 2,348 人

＜利用状況＞

○高齢者サロン

ささえ愛

第 2・4 月曜日

にこにこサロン

第 1 火曜日・第 3 月曜日

○余暇支援活動	余暇活動さんりんしゃ	第3土曜日
○子育て支援事業	佐山学区子育てサロン にじいろすまいる	第3火曜日 第3金曜日
○小地域福祉活動	ささえ愛 配食活動	毎週木曜日
○地域の活動の拠点	佐山学区自治振興会ほか	

9. 甲賀市社協ボランティアセンター事業

(共同募金、社協会費)

(1) 福祉ボランティア活動の活性化

① 甲賀市社協ボランティアセンター登録者・グループ数

登録者一覧表(令和3年3月31日現在)					
地域	グループ		個人登録 人数	個人・G 総数	登録人数 合計
	G数	人数			
水口	41	940	56	97	996
土山	30	410	20	50	430
甲賀	38	1,583	10	48	1,593
甲南	27	1,053	48	75	1,128
信楽	34	513	17	51	564
市VC	40	1,378	3	43	1,381
(内) 災害V	—	—	101	—	101
合計	210	5,877	255	364	6,193

② ボランティアコーディネート

《主なコーディネート内容》

福祉ボランティアコーディネート、ボランティア活動(志望)者相談、福祉施設ボランティア、福祉学習コーディネートなど。

(※実績数は、総合相談事業「福祉なんでも相談」に集計)

1) 水口地域

生活支援ボランティアちょこっとお助け隊活動支援、うさぎのミニ活動支援、みんなくる会活動支援、サロンまなび活動支援、傾聴ボランティアグループ「あい・あい」活動支援、地域行事、福祉施設へのボランティアコーディネート

2) 土山地域

サロン・地域行事等へのボランティアコーディネート、ふみグループ活動支援、ほほえみ会活動支援、生活支援ボランティアつなぎの輪事務的支援、ルージュ(作業所給食ボランティ

ア) コーディネート、個人ボランティアコーディネート

3) 甲賀地域

地域行事、福祉施設、サロン等へのボランティアコーディネート、喫茶お和しすボランティア活動支援、傾聴ボランティア活動支援、生活支援ボランティア活動支援

4) 甲南地域

ボランティアグループ活動支援（もんじゃの会、手づくりおもちゃポッポちゃん、とんがりぼうし）、地域行事・団体・自主活動・おたっしや広場等のボランティアコーディネート
生活支援ボランティアグループ「すぷーん」の活動支援とコーディネート

5) 信楽地域

障がい児・者活動支援、子育てサロン支援、あくていふ紫香楽活動支援、金曜会活動支援、地域サロン・行事へのボランティアコーディネート

③ 甲賀市介護予防ボランティア・ポイント業務

○活動継続者研修会

【開催】9月16日、11月26日

【内容】コロナ禍におけるボランティア活動の注意点・介護予防について
ボランティア活動における留意事項

【参加】4人 ※コロナ禍のため、活動継続者については資料配布となる。

④ ボランティア保険加入事務

	ボランティア 活動保険（人）	行事保険（件）	福祉サービス補償 （件）	送迎補償 （件）
水口	1,335	85	5	1
土山	57	11	0	0
甲賀	407	21	1	10
甲南	214	24	0	3
信楽	381	70	1	2
合計	2,394	211	7	16

(2) 甲賀市ボランティア連絡協議会支援

支部名	支援内容	回数	参加延人数
市ボランティア連絡協議会	理事会、支部長会、四役会、総会、研修会など	11	71
水口支部	代表者会、役員会、フードドライブ、交流会	11	152
土山支部	代表者会、交流会、広報紙発行支援	8	78
甲賀支部	役員会	15	43
甲南支部	役員会、定例会、研修会、交流会など	14	119
信楽支部	三役会、定例会、研修会、交流会 広報紙発行支援など	7	52
合 計		66	515

(3) 福祉学習等開催支援

(学校が実施する福祉学習への協力・支援)

(共配)

出前講座の実施（車いす体験、アイマスク体験、点字体験、インスタントシニア体験等）
《開催状況一覧》

	小学校		中学校		計	
	箇所	回	箇所	回	箇所	回
水口	4	6	0	0	4	6
土山	2	2	0	0	2	2
甲賀	3	4	1	1	4	5
甲南	2	3	0	0	2	3
信楽	1	2	0	0	1	2
計	12	17	1	1	13	18

（４）ボランティア助成事業

（共配）

事業名	助成対象団体	件数	金額（円）	事業内容
甲賀市ボランティア連絡協議会活動助成金	ボランティア連絡協議会活動助成金	6	120,000	ボランティア連絡協議会活動
甲賀市ボランティアグループ活動助成金	ちーむ・はいじ	1	20,000	フードバンク事業

（５）ワクチン接種会場ボランティア派遣

令和３年度の事業計画には無かった取り組みではあるが、令和２年度よりコロナ禍が継続し、甲賀市でも４月より新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種が市内の３会場で行われることから、市担当課に打診し、ワクチン接種会場でのボランティア派遣とコーディネートを行うことを決定した。

甲賀市赤十字奉仕団連合会、ボランティアセンター登録ボランティア、甲賀市ボランティア連絡協議会、甲賀市民生委員児童委員協議会連合会に協力を呼びかけ、３つの会場で延べ１４９日、延べ５９０人のボランティアに活動いただいた。

また、令和４年の１月から実施された３回目のワクチン接種においても同様の取り組みを行った。

期間	接種会場	活動日数	ボランティア人数	延べボランティア人数
5/30(日)～ 7/31(土)	水口体育館	50 (AM/PM)	174	283
	忍の里プララ	28 (PM)	45	105
	信楽開発センター	22 (PM)	25	63
2/3(木)～ 3/29(火)	水口体育館	34 (AM・PM)	76	109
	信楽開発センター	15 (PM)	23	30
合 計		149	343	590

１０．広報、社協表彰状贈呈式、人材育成

（１）広報紙の発行

（共配）

広報紙は、冊子版「社協こうか」の発行と老人福祉センター碧水荘だより・デイサービスセ

ンターすこやか荘だより・甲賀福祉作業所通信・つちやま福祉作業所通信を発行した。冊子版では、ウイルス感染対策をしながら活動されている地域やフードバンク事業等の紹介を通じて、コロナ禍における社協全体としての動きや啓発を行い広く周知した。冊子版の発行は年4回とし、その内3回（4月と10月と1月）を新聞折込、1回（7月）を各地区区長の協力により町内や組を通じて配布していただいた。

① 甲賀市全体版発行 冊子版 4回（区長配布7月）（新聞折込4月・1月・10月）

	発行日	広報紙人	記事
1	4/15(木)	社協こうか第95号	・eココロステーション活動開始 ・拝坂区買い物支援の取り組みの紹介 ・赤い羽根共同募金協力のお礼 他
2	7/15(木)	社協こうか第96号	・会長就任のあいさつ ・コロナワクチン接種会場ボランティアの紹介 ・令和2年度事業報告・決算報告 他
3	10/15(金)	社協こうか第97号	・こども食堂の紹介 ・甲賀市災害福祉ネットワークセンターの立ち上げ ・令和3年度甲賀流赤い羽根バッジデザインの紹介 他
4	1/1(土)	社協こうか第98号	・新春社協スゴロク ・社協会費のお礼 ・フードドライブ学習交流会の開催 他

※社協会費・共同募金協力へのお礼時に広報を同封するため、発行部数に増減あり。

② 老人福祉センター碧水荘だより発行 1回

③ 甲賀福祉作業所通信発行 12回

④ 社協内広報の発行（法人内部職員向け） 4回

デイサービスセンターすこやか荘だよりとしての発行は、コロナ禍で中止になる行事が多かったため発行していないが、都度施設の取り組みの情報はお知らせしていた。

⑤ 視覚障がい者への音訳CDの作成

○甲賀市社協 4回 甲賀市 12回 議会だより 4回 選挙公報 1回

○発送登録者 17人

○毎回の発送枚数 利用者17枚・図書館用5枚・すこやか荘1枚

（2）あいコムこうか共同制作「こうふくコロンプス」

株式会社あいコムこうかとの協働により地域福祉の専門番組を制作し、市内における住民による地域福祉活動の紹介や社協活動の紹介など広報啓発活動を行った。

① こうふくコロンプス放映 12回

【放映日】 第2月曜日から日曜日までの1週間

【放映時間】 月曜日～土曜日／9:15～・12:15～・16:15～・20:15～・22:45～
日曜日／9:15～・13:30～・18:00～ （15分番組）

【主な内容】 「しゃもじでおじゃま」（サロン活動紹介・インタビュー）

「発見！わがまちふくし」（ボランティア活動紹介）

「お知らせ」

	放送月	内容
1	4 月	・滝区いきいきサロン（甲賀地域） ・子ども食堂ネットワークこうか（子ども食堂）
2	5 月	・泉区はればれ会（水口地域） ・生活支援ボランティアすぷーん（甲南地域）
3	6 月	・広域サロンにこにこサロン（甲賀地域） ・拝坂区見守り隊（甲賀地域）
4	7 月	・西野区いきいきサロン（土山地域） ・認知症キャラバン
5	8 月	・耕心区おたっしや広場（甲南地域） ・甲賀市福祉セラピストの会「おせっかいの会」
6	9 月	・ささえ愛サロン（甲賀地域） ・池田団地区気まぐれ隊（甲南地域）
7	10 月	・赤い羽根共同募金 ・e ころろステーション甲賀（甲賀地域）
8	11 月	・甲賀市赤十字奉仕団連合会研修 ・伴谷小学校 4 年生福祉学習（水口地域）
9	12 月	・信楽つどいの会（信楽地域） ・下山区ふれ愛いきいきサロン（水口地域）
10	1 月	・貴生川 3 区いきいきサロンたんぽぽ会（水口地域） ・土山地域「田舎の防災フォーラム」（土山地域）
11	2 月	・かむらいきいきサロン（甲賀地域） ・おいでそまっ子（甲南地域）
12	3 月	・こうふくコロンプス総集編

（３）社協表彰状贈呈式

○令和 3 年度甲賀市社会福祉協議会会長表彰状の贈呈式

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため地域福祉大会が中止となったため、今年度も甲賀市社会福祉協議会単独で表彰式を行う事となった。

【開催日】 2 月 17 日（木）

【場 所】 水口社会福祉センター

【参加者】 受賞者 5 人 社協 6 人

《表彰贈呈者》

① みんなくるかい

② ささゆりグループ

- ③ かふか手話サークル
- ④ 内海流輔乃香会
- ⑤ 親友会

(4) 実習生の受入れ

○社会福祉士養成 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

【実習生（期間）】びわこ学院大学 1人（R3.8.22～ R3.10.13の内、15日間）

京都ノートルダム女子大学 1人（R3.8.16～ R3.10.15の内、22日間）

【内 容】社協が実施する各種地域福祉事業・活動への参加を受け入れ、援助技術を中心に指導・助言・評価を行なった。

1 1. その他受託事業等

(1) ファミリーサポートセンター事業

(市受託)

【趣 旨】住民が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境を整備するとともに、地域における子育て支援を行い、労働者の福祉の増進および児童の福祉の向上を図る。

【マッチング回数】365件

【活 動 別 実 績】 (回)

活動内容	令和3年度	令和2年度
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	23	0
保育所・幼稚園の送り	151	296
保育所・幼稚園の迎え	0	169
学童保育の終了後の預かり	31	0
保護者の外出の場合の預かり	7	7
学童保育の迎え	69	50
子供の習い事の場合の援助	51	57
保育所・学校等休み時の援助	1	11
保護者等の短時間労働の場合の援助	3	0
保護者の病気、その他急用時の預かり	29	14
学習支援事業の送迎	0	0
その他	0	10
合計	365	614

【登録会員数】 (人)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
おねがい会員	196	220	216
まかせて会員	81	81	83
どっちも会員	25	25	23
合計	302	326	322

【事業内容】

業務名称		開催時期	場所	人数	内容
講座・交流会	子育て 応援講座（基礎編）	コロナ禍により書面研修	「わが家の安心ガイドブック」をファミサポ通信と一緒に配布		
	交流会	コロナ禍により中止			
広報関係	社協こうか	10月	甲賀市内 一円	1	関係機関及び全会員への配布と郵送
	ファミサポ 通信発行	3月			全会員へ郵送、市内小学校・関係機関への配布と郵送
登録業務（出張）		随時	社協各地域福祉活動センター又は会員の自宅	4	センターまで来所困難なお願い会員への対応
相談業務		随時	社協各地域福祉活動センター又は会員の自宅	82	利用の問合せ等

（２）こんにちは赤ちゃん事業

（市受託）

【内容】市から委託を受け、生後３か月の赤ちゃんのおられる家庭を民生委員児童委員が訪問される際にお渡しする粗品及び子育ての情報紙の準備等を通じ、子育てで悩みを抱えるケースも多く、早期発見早期対応を目指して担当機関へつないだ。

令和３年度はコロナ禍により子育て情報誌等を送付し、民生委員児童委員が電話による声かけなどにより見守りを行った。

【訪問件数】民生委員児童委員による見守り・声かけ件数

（件）

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
水口	165	245	291
土山	19	19	22
甲賀	37	46	47
甲南	107	99	131
信楽	17	28	35
合計	345	437	526

（３）ふくしまんパワーねっと事業

（市受託）

甲賀市内の福祉職場で働く ①職員の人権意識を高め ②質の高い福祉を継続的・恒常的に進めるため各事業所や個々の職員をつなぐネットワークを構築し ③福祉事業所・福祉職場で働く立場から地域課題の解決に向けた協議を行うことを目標に以下の事業を実施した。

① 社会福祉法人 連携・連絡会議（施設長・事業所長等を対象）

【開催日】 11月26日（金）

【出席】 施設長等7人、社協19人 計26人

【内容】 ・社会福祉法人における働き方改革、労働災害と予防策について

【場所】 福祉ホールならびにオンライン（Zoom）によるハイブリッド研修

② 企画調整会議（中間マネジャー会議）

【開催】 ①文書会議 9月24日（金）、②11月12日（金）

【出席】 社会福祉法人中間マネジャー、社協

【内容】 ・コロナ禍における今年度の取り組みについて

・文書会議の集計結果共有

・今後の取り組みについて

【場所】 文書会議ならびに福祉ホール

③ 学習会・交流会

【開催日】 9月24日（金）

【場所】 文書資料による学習会

【参加者】 27団体

【内容】 人権擁護の推進について（大津地方法務局甲賀支局）

社会貢献活動の推進について・ボランティアポイント登録（甲賀市社協）

【開催日】 11月12日（金）

【場所】 福祉ホール

【参加者】 7団体8人、社協12人

【内容】 フードバンクの取り組みについて（フードバンクびわ湖 理事長 曾田氏）

フードドライブの取り組み協力をお願い（甲賀市社協生活福祉課）

④ 人権研修会

【開催日】 3月8日（火）～3月31日（木）

【場所】 オンライン（YouTube 動画配信）

【内容】 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラム

⑤ 「ふくしまんパワーねっと こうか」情報の受発信・登録団体数等 d

・福祉事業を運営する法人への参画呼びかけ 新規登録1法人

・メール等による情報発信・共有 文書資料のメール配信

・登録団体（法人・施設）数 30団体（31施設）

12. 機器貸出事業

貸出状況		(件)			
物品	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
わたがし機	4	1	0	2	0
ポップコーン機	4	0	0	0	0
かき氷	4	0	2	6	0
たこ焼き機	0	0	0	0	0
餅つき 臼と杵	0	0	0	0	0
レクレーション	16	17	27	1	0
ニュースポーツ	0	0	0	2	0
おもちゃ	14	0	0	7	0
ビンゴ道具	3	4	2	0	0
カラオケ・楽器	2	0	10	0	0
テント	2	0	0	0	0
車いす	128	23	63	13	47
スロープ	1	1	0	0	0
歩行器	2	0	0	0	1
アイマスク	60	8	0	0	0
点字機器	50	0	0	0	0
プロジェクター	0	0	19	5	0

Ⅲ.「相談・支援」の取り組み

1.生活困窮者自立支援の取り組み

生活困窮者自立支援法に基づき、社会的孤立にある人・経済的困窮にある人、制度のはざまにある人などに対して、家計の管理ができるようになり、生活のリズムを取り戻し、社会ともつながることができるよう自立を支援する自立相談支援事業・家計相談支援事業を市から受託し実施した。

(1) 自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進

(市受託事業)

① 生活相談・困窮相談への対応

【相談件数】 113 件 (内訳 新規相談 15 件)

【延べ件数】 453 件 (件)

相談 (延べ件数) の内訳			
病気・障がいについて	2	地域との関係について	6
住まいについて	72	家族との関係について	2
収入・生活費について	109	子育てについて	7
家賃・ローンの支払について	19	介護について	0
税金・公共料金の支払について	15	ひきこもり・不登校について	0
債務・借金について	66	D V・虐待について	0
仕事・就職について	77	食べる物がない	71
仕事のトラブルについて	0	その他	7

② 家計相談支援の状況

【支援件数】 5 件 (内訳 新規 4・継続 1 件)

【支援内容】 家計収支のバランスが取れていないなど、家計に問題を抱え、現に経済的に困窮している世帯について、市生活支援課と連携し自立促進を目標に、相談支援を実施する。

(債務整理手続き、滞納税等の分納手続き、給付金等受給手続き、公共料金の支払手続き、法的相談、年金申請などの同行支援等を含む。)

③ ひきこもり支援事業 (サロンぽるた同行支援等)

生活困窮世帯でかつ閉じこもりがちな方に対して、居場所づくりや社会参加の促進を目的にサロンを実施した。(サロン 44 回開催)

○支援内容 個別面談 (傾聴支援)、就労支援 (ハローワーク・生活支援課同席傾聴支援)、自宅訪問、就労先同行支援等

《研修、会議等への参加》

○資金貸付担当研修会、小口資金貸付担当者会議

【開催回数】 1 回

【場 所】 遠隔会議

【参加者】相談員 1 人

○甲賀市役所生活支援課との定例連絡会の実施

【回 数】46 回（毎週水曜日の実施）

【内 容】市・社協で受けた全困窮相談の情報共有・支援の方向性確認等を実施

【場 所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、就労準備支援機関、社協

○青少年自立支援ホーム 一步 運営委員会

【回 数】2 回

【場 所】青少年自立支援ホーム 一步

【参加者】一步運営委員会委員、社協

（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施

（市受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯の子どもたちに対し、貧困が世代をこえて連鎖することがないように、学習・食事・生活習慣の確立などを支援し、子どもたちが自らの能力を伸ばし、社会で自立して生きていく力を身につけることができることを目的に実施される甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」水口・月曜・火曜教室を受託し事業実施した。

○甲賀市学習支援事業 「学んでいコウカ」水口・月曜・火曜教室の目標

- ① 心いやされる居場所づくりとしての取り組み
- ② 生活習慣の確立と食の確保の取り組み
- ③ 将来の夢や職業観を持てる取り組み
- ④ 基礎的な学力定着と学力の向上のための取り組み

○水口・月曜教室の概要、実績

- ・開設日時 毎週月曜日（祝祭日は除く） 18:00～20:00
- ・開設場所 水口社会福祉センター
- ・登録児童 小学生 8 人、高校生 2 人
- ・スタッフ 学習指導員 2 人、運営サポーター 9 人
- ・年間実績
 - ・年 間 開 設 日 数 39 日
 - ・年間利用児童数 のべ 304 人
 - ・特別企画内容 本の読み聞かせ、携帯電話の使用法、子ども会議など

○水口・火曜教室の概要、実績

- ・開設日時 毎週火曜日（祝祭日は除く） 18:00～20:00
- ・開設場所 水口社会福祉センター
- ・登録児童 小学生 7 人、中学生 4 人、高校生 3 人
- ・スタッフ 学習指導員 2 人、運営サポーター 5 人

- ・年間実績 ・年間開設日数 41日
- ・年間利用児童数 延べ292人
- ・特別企画内容 本の読み聞かせ、お楽しみ会、子ども会議など

○学習支援事業「学んでいコウカ」に関する会議・研修会等

- ・学習支援事業 代表者会議

【回数】11回

【内容】各教室の状況等情報交換、指導員研修等

【場所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、各教室代表者、社協

(3) フードバンク事業 eこころプラン

生活困窮者支援や地域の居場所作り、子ども食堂の活動を支援する拠点として甲賀市版フードバンク事業を実施。eこころステーション開設にあたり運営ボランティアを募り活動拠点を整備し、食品・物品の寄附や提供の流れを作ること、地域に必要とされる支えあいの仕組みが地域に広がることを目的に取り組む。令和2年度内に水口地域、甲賀地域、信楽地域の3か所の活動拠点を設け、令和3年度は運営ボランティアと共にコロナ禍に必要とされているフードバンク活動の継続・発展に取り組んだ。

寄附・提供数一覧 3拠点の合計数

	食品（品数）			米（重量 Kg）			物品（品数）		
	寄付 受入	提供 (個人)	提供 (団体)	寄付 受入	提供 (個人)	提供 (団体)	寄付 受入	提供 (個人)	提供 (団体)
4月	843	709	1,510	40	153.65	210	87	3	10
5月	741	569	891	158.5	41	265	92	56	90
6月	1,063	800	895	124	67.05	35	277	24	134
7月	3,070	650	474	180.3	46.75	3	1,257	97	224
8月	1,540	571	744	150	162.65	1	158	35	186
9月	808	851	643	413	111.7	32	298	34	1
10月	2,601	746	1,930	802	125.3	208.75	295	36	86
11月	1,033	992	243	270	131.95	206	191	64	46
12月	7,998	6,736	1,914	1,280	726	415	1,139	54	44
1月	5,951	1,142	1,659	187	94.8	273.8	179	18	0
2月	5,488	1,064	5,390	46	80	21	656	48	37
3月	1,573	1,183	221	13	196.25	23.2	570	101	0
計	32,709	16,013	16,514	3,663.8	1,937.1	1,693.75	5,199	570	858

【フードバンク活動拠点の状況】

① eこころステーションみなくち

【場 所】 水口町八坂 7-2

【開設日】 6 月 1 日（火）

【運 営】 eこころステーション運営ボランティアグループ

② eこころステーションこうか

【場 所】 甲賀町大原中 1065

【開設日】 12 月 1 日（水）

【運 営】 eこころステーション甲賀ボランティアグループ

③ eこころステーション信楽みつけようパントリー

【場 所】 信楽町長野 1284-1

【開設日】 3 月 15 日（火）

【運 営】 ボランティアグループ大丈夫をみつけよう

各活動拠点において、運営ボランティアグループの活動支援や地元企業への寄附の呼びかけ、コーディネートや関係機関との調整、賃貸契約等必要な事務手続きなどを行った。

（運営ボランティアグループへの活動助成事業の創設）

eこころステーションで活動するボランティアグループの活動が継続・発展することを目的に、令和3年度甲賀市社会福祉協議会 eこころステーションボランティアグループ活動助成金を創設し運営ボランティアグループへ交付した。

交付実績

・ eこころステーション運営ボランティアグループ（水口）	60,000 円
・ eこころステーション甲賀ボランティアグループ	30,000 円
・ eこころステーション信楽みつけようパントリー 運営ボランティアグループ大丈夫をみつけよう	30,000 円

（食品配布活動）

① eこころステーション応援物資配布事業

【開催日】 8 月 22 日（日）

【趣 旨】 eこころステーションと甲賀市ひとり親家庭福祉の会が共同で、コロナ禍での生活を応援しようと甲賀市内のひとり親家庭 52 世帯に寄附いただいた食品、生活物資を配布。（社）フードバンクびわ湖、甲賀地区更生保護女性会、甲賀市役所職員有志の協力を得て、甲賀市まちづくり活動センターまる一むを会場に開催した。

【配布数】 52 食

② e ころステーション歳末配分事業「ころつながる・あたたかい贈り物

【開催日】 12 月 12 日（日）

【趣 旨】 寄附いただいた食品・生活物資を活用し、年末年始を安心して温かくすごしてもらうことを目的に歳末応援物資の配布を実施。甲賀市ひとり親家庭福祉の会、国際交流協会、フードバンクびわ湖、生活支援課等と連携し開催した。

【配布数】 水口会場（水口社会福祉センター） 125 世帯

甲賀会場（甲賀大原中団地集会所） 24 世帯

信楽会場（辻ビル） 24 世帯

合計 173 世帯

○滋賀県社会福祉協議会との連携

関係会議への参加と企業等からの寄付申し出の受入調整

（４）住民同士による外出支援活動の推進

○外出支援活動用貸し出し車両貸渡事業の実施

住民有志による外出支援活動を行う区・自治会、団体に対し、送迎用車両を貸出し、活動を支援する。

・貸出登録先となった地域、団体 拝坂区、大原上田区、櫛野区、伴谷自治振興会、山内自治振興会等

2. 生活支援活動

（１）資金貸付事業

① 小口資金の貸付

小口資金の貸付状況							
地域	新規貸付		年度中 償還額(円)	貸付金残額(3月31日現在)			
	件数	金額(円)		件数	金額(円)	内滞納 件数	内滞納額(円)
水口	10	177,964	542,964	90	2,516,000	88	2,476,000
土山	0	0	0	10	292,000	10	292,000
甲賀	1	20,000	90,000	9	206,000	9	206,000
甲南	1	10,000	60,000	10	216,000	10	216,000
信楽	1	20,000	20,000	6	242,000	6	242,000
合計	13	227,964	712,964	125	3,472,000	123	3,432,000

② 生活福祉資金の貸付

1) 新規貸付の決定状況（資金種別ごと）

地域	総合支援資金		緊急小口資金		福祉資金		教育支援資金	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
水口	0	0	0	0	1	924,000	3	3,473,414
土山	0	0	0	0	0	0	0	0
甲賀	0	0	0	0	0	0	0	0
甲南	0	0	0	0	0	0	0	0
信楽	0	0	0	0	1	49,800	1	1,781,730
市計	0	0	0	0	2	973,800	4	5,255,144
地域	生活復興支援資金		臨時特例 つなぎ資金		合 計		前年度	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
水口	0	0	0	0	4	4,397,414	12	17,296,495
土山	0	0	0	0	0	0	1	90,000
甲賀	0	0	0	0	0	0	1	1,500,000
甲南	0	0	0	0	0	0	2	3,206,600
信楽	0	0	0	0	2	1,831,530	3	7,030,000
市計	0	0	0	0	6	6,228,944	19	29,123,095

- 2) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例緊急小口資金貸付、総合支援資金の状況
 コロナ禍の影響による休業や失業等により生活に必要な資金が不足した世帯に対する緊急小口資金と、失業等により生活困窮の状態が継続している世帯に対する総合支援資金の貸し付けにおいて、申請窓口を市役所別館に設置し、相談援助と共に申請受付を行った。申請期間がたびたび延長され、令和4年8月末まで受付中である。

	貸付決定件数（件）	貸付決定金額（円）
緊急小口資金	270	50,470,000
総合支援資金	599	270,520,000
合 計	869	320,990,000

（2）地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター）

認知症・知的・精神に障がいがあり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施した。

① 支援実績

- ・事業利用契約者年度末数 113 件 （内生活保護件数 26 件）
- ・問い合わせ件数 20 件

- ・要調査相談件数 32 件 64 回
- ・生活支援員による支援件数 8,412 件 (内生活保護件数 2,114 件)

② 専門員、生活支援員の活動状況

- ・利用者ケース会議等への出席
- ・圏域の自立支援協議会への参画
- ・預かり物の点検、支援計画見直し
- ・訪問支援活動
- ・利用者が死亡された場合の対応等、必要な支援内容の検討

③ 内部会議・ケース検討会等

○権利擁護事業利用者ケース検討（弁護士参加）

【回 数】12 回

【会 場】水口社会福祉センター

【参 加】弁護士、支援専門員

④ 行政会議・ネットワーク会議・研修会等

○甲賀地域 障害児・者サービス調整会議（甲賀地域自立支援協議会）

【開 催】4 回（定例会議・全体会議、推進会議に参加）

【場 所】甲賀県事務所

【参 加】甲賀圏域の関係機関、関係支援ワーカー、担当者等

○甲賀市障害者虐待防止ネットワーク協議会

参加回数：年間 2 回

○甲賀市障害者差別解消地域支援協議会

参加回数：年間 2 回

3. 障がい者への相談支援・計画相談支援の実施

相談支援専門員（兼務）を 2 人配置し、計画相談支援（サービス等利用計画の作成）・基本相談支援の事業を展開し、障がい福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、もっとも適切なサービスの組み合わせについて検討し計画を作成支援した。

【相 談 件 数】1 件

【契 約 者 数】31 人（水口 8、土山 7、甲賀 8、甲南 3、信楽 5）

【計 画 作 成 件 数】28 件

【モニタリング件数】92 件

（会議・研修会等）

○甲賀地域障害児・者サービス調整会議 相談支援事業ネットワーク部会への参画

地域内の相談機関による活動の情報交換・共有を行い、相談支援事業の課題に向けた取り組みを検討・実施する目的で開催された会議

【開催】12回（毎月第1火曜日）

【場所】甲賀合同庁舎

○甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター主催研修への参画

甲賀圏域の相談員のスキルアップや、円滑な事業実施ができるように開催され参加

【開催】1回

【場所】障がい者基幹相談支援センター

4. ひきこもり支援活動

（1）「甲賀湖南ひきこもり支援 ～奏 かなで～」への参画・活動支援

【会議等】運営会議への参加 2回

【場所】甲賀健康福祉事務所

（2）一斉電話相談窓口の開設と相談の実施

【日時】9月9日（木）、2月17日（木）

【相談員】ソーシャルワーカー3人（社会福祉士）

【件数】電話相談を1件受け付けた

（3）居場所づくり

フードバンク事業eこころプランの拠点であるeこころステーションに運営ボランティアの協力のもと、ひきこもりの方が通えるサロンを開設し利用いただいた。

（4）働く体験

ひきこもり状態にある人の社会参加を目的に、軽作業をしながら人との交流の機会を作る甲賀市働く体験を、組織を横断したプロジェクト形式で企画、検討し、令和3年10月から実施した。

【プロジェクト検討メンバー】

社会福祉法人さわらび福祉会（甲賀・湖南ひきこもり支援 奏 かなで）・甲賀市（生活福祉課、すこやか支援課）・甲賀地域障がい者雇用生活支援センター、滋賀県社会福祉協議会、甲賀市社会福祉協議会

【事務局（実働）メンバー】

社会福祉法人さわらび福祉会（甲賀・湖南ひきこもり支援 奏 かなで）・甲賀地域障がい者雇用生活支援センター、滋賀県社会福祉協議会、甲賀市社会福祉協議会

【実施日・場所・内容・参加者】

- ①10月25日(月) 水口社会福祉センター 福祉事業所の洗車(2台)
対象者2人 支援者7人 見学者1人(実習生)参加
- ②11月30日(火) 水口社会福祉センター 福祉事業所の洗車(2台)
対象者4人 支援者7人 見学者5人(甲賀・湖南保健所保健師)参加
- ③12月21日(火) 水口社会福祉センター そばの実の選別作業
対象者2人 支援者5人参加
- ④1月27日(木) 水口社会福祉センター そばの実の選別作業
対象者2人 支援者4人参加
- ⑤2月22日(火) 水口社会福祉センター そばの実の選別作業
対象者2人 支援者3人参加
- ⑥3月25日(金) 水口社会福祉センター そばの実の選別作業
対象者3人 支援者6人 見学者1人(生活支援センターしろやま所長)参加

5. その他受託事業

(1) 障がい児タイムケア事業

(市委託事業)

甲賀市内の障がいのある小中高生等の長期休暇中の活動の場として開催。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催に向けた障がい福祉課と協議を重ねた結果、夏季休暇期間に5日(内1日は緊急事態宣言発令のため中止)、春季休暇中に1日の開催となった。

○サマースクール

【開催日・場所・内容】

- ①7月25日(日) 水口社会福祉センター
・うさぎのミミさんのお話をきこう ・万華鏡を作ろう
- ②8月1日(日) 老人福祉センターフィランソ土山
・拡大紙芝居を見よう ・マジックショーを楽しもう
- ③8月8日(日) かふか生涯学習館
・キッズダンスにチャレンジ ・うちわを作ろう
- ④8月22日(日) 水口社会福祉センター
・ミュージックケアを楽しもう ・缶バッチを作ろう

*当初、信楽町柞原会館で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で貸館不可となったため水口社会福祉センターに会場を変更して実施

【参加者】

参加登録児童・生徒 20人

延べ参加者 児童・生徒31人 きょうだい28人 保護者38人 ボランティア 18人

○春休み、みんなで楽しもう！！

【開催日】3月21日(月・祝)

【場 所】水口社会福祉センター

【内 容】劇を見よう（劇団ふりいだむ）

エコバックを作ろう

ビンゴゲームで楽しもう

【参 加】対象児童・生徒 10 人、きょうだい 11 人、保護者 11 人

ボランティア 15 人

IV.福祉作業所の運営

新型コロナウイルスの影響もあり、住民の方と協働した事業が少ない中ではあったが、感染症予防対策を講じながら地域連携を意識した取り組みを行うことができた。下請け作業、施設外作業、甲賀市役所内の「すまいるかふえ」の運営に携わり、利用者が増加した中で平均工賃を下げないように努力を行うことができた。

また、福祉作業所の基本理念を検討し「はたらく・つながる・かなえる」を決定し、令和4年度より理念を意識して障がい者支援を行っていく。

1. つちやま福祉作業所

(1) 利用者の状況

【利用者数】	就労継続支援B型 17人（定員 20人）（男子：11人 女子：6人） 9月～1人、11月～1人、1月～1人 計3人新規通所開始
【利用者住所地】	土山町 11人 甲賀町 3人 水口町 3人
【障がい区分】	精神：2人 知的：14人 知的・身体：1人
【障害支援区分】	なし：5人 区分1：1人 区分2：3人 区分3：3人 区分4：1人 区分5：2人 区分6：1人
【年間平均通所率】	94.4%（前年度 94.9%）
【年間平均工賃】	月額 20,012円／1人（前年度 20,413円／1人）

(2) 作業内容

【下請け事業】	・滋賀ボルト(株) ボルト・ナットの組み立て ・(有)中島電器製作所 電気部品の組み立て ・倉英工業(株) ゴム製品の穴あけ加工 ・(有)名倉紙工 菓子箱の組み立て作業 ・(株)JEJ プラスチック製品の加工・封入
【喫茶事業】	・すまいるかふえ 喫茶営業（週1日・木曜日担当）
【リサイクル事業】	・アルミ缶の回収（区・自治会・企業） (株)がんさん買取 ・古紙の回収（区・自治会・企業） (株)農環 ダンボール買取
【物販事業】	・物資斡旋販売 そうめん・うどんの販売・配達 ・自主事業 米袋リサイクルエコバッグの作成・販売
【その他事業】	・市委託事業 トイレ清掃・草刈り業務（年間通じて） ・池田電装(株) トイレ・食堂清掃 ・グリーンサポートこうが 草刈り作業

(3) 所内行事

- (4月) 給食の日、休日開所(作業)
- (5月) 余暇支援(レク)、新規施設外就労開始、
日赤奉仕団清掃奉仕活動、給食の日
- (6月) 休日開所(作業)、外出支援(買い物 水口アルプラザ)、物販事業(そうめん)
合同説明会
- (7月) 休日開所(作業)
- (8月) 休日開所(作業) 夏季休暇(12日～16日)
- (9月) 休日開所(作業)、新規通所者1人通所開始
- (10月) 大学生福祉実習(びわこ学院大学・ノートルダム)、休日開所(作業)、
歯科健診
- (11月) 健康診断、新規通所者1人通所開始、さすけくらぶ参加、給食の日、
休日開所(作業)
- (12月) 給食の日、忘年会、ソロプチミスト贈呈式、さすけくらぶ参加
ジョブガイダンス、年末大掃除、年末休暇(30日～31日)
- (1月) 書初め・外出支援(初詣)、余暇支援(レク) 年始休暇(1日～4日)
休日開所(作業) 新規通所者1人通所開始、ジョブガイダンス、
保護者会打ち合わせ(コロナのため中止・打ち合わせのみ)
- (2月) 休日開所(作業)
- (3月) 休日開所(作業) 余暇支援(園芸活動)

(4) ボランティアの状況

- ・土山町民生委員児童委員協議会障害者部会(リサイクル回収)
- ・土山町ゆうゆうクラブ連合会(リサイクル回収)
- ・大野地区日赤奉仕団(作業所の清掃作業)
- ・作業所支援個人ボランティア(内職・すまいるかふえ・給食・リサイクル)
- ・保護者会(各行事運営)

(5) 実習の状況

- ・大野小学校 体験学習 11月25日
- ・三雲養護学校高等部実習 8月3日～8月5日
8月23日～8月25日
11月17日～11月19日
2月14日～2月17日 合計4人
- ・体験利用 1月11日、1月12日、1月14日 1人

(6) 定例会議等

- ・職員会議(月1回)
- ・サービス調整会議(毎月1回)
- ・各ケース検討会議(随時)

- ・作業所検討部会（毎月1回）
- ・すまいるかふえ会議（毎月1回）
- ・進路調整部会（年3回）
- ・甲賀市障がい者就労支援部会（随時）

（7）職員の研修等

- ・職員所内研修：作業所理念の策定 「はたらく つながる かなえる」
：コロナ禍による勉強会の予定中止
職員が閲覧できる教材（DVD・書籍）の購入・使用
- ・職員研修（法人内各種研修に参加）

《つちやま福祉作業所事業全体のまとめ》

令和3年度の主な支援では、元年度から取り組んでいる朝・終礼時の意見発表の機会の提供の成果が出はじめ、利用者個人々が自分の思いを伝える・表現する力が少しずつ表面化してきた。地域の中で自立して暮らしていくことを目標に、助けてほしいこと・困っていること・その他自分の思いを伝える練習を継続してきた。3年度には利用者さんたちから「忘年会がしたい」という意見があり、コロナ禍の影響もある中、相談・感染対策の徹底等を進めながら、開催することができた。意見を伝え、目的のために自分たちにできることを頑張り、実現していくという形をとることができた。

就労支援事業ではコロナウイルス等の影響で作業量の波があった中で、地域の中の企業から施設外就労の場を頂くことができ、工賃収入のほか、地域の中での相互理解の場づくりにも前進することができた。継続して行っている所内での清掃活動等を通して、仕事だけでなく普段の自分自身の生活力の向上も少しずつだが成果が出始め、各家庭で自分たちでやってみたなどの取り組みや、今まで外の作業は難しかったのが、中で練習してできたなど、成果が一定見られた。

地域のボランティアとの交流に関しては、コロナ禍の影響で途中、止めざるを得ない状況があったが、対策等を講じながら、状況を見て受け入れも再開できてきている。継続して「すまいるかふえ」や給食の日、リサイクル事業での継続したつながりの中で、安定した場と機会の提供が行えている。

次年度も地域に開かれた事業所をめざし、利用者個々のニーズに合わせた支援を行いながら、地域の方々との関わりを通して、利用者の暮らす地域とともにある作業所づくりを進めていく。

また、利用者が3人増え、障がい特性に関しても重度の方（歩行介助）に対するサービスの提供の質の確保に努めている。受け入れをした中で、地域の中で障害の特性のために日中活動がなかった方の活躍できる場を提供することができた。今後も圏域の中でもニーズが増えてきている方々（重度の方）への対応もできるようになることを目標に努力していきたい。利用者の処遇面でも、増員による工賃の低下がないように、引き続き機会の提供とともに、就労支援事業収入の向上に努める。

2. 甲賀福祉作業所

(1) 利用者の状況

【利用者数】就労継続支援B型 29人（定員34人）（男子：15人 女子：11人）
（入所者）

2月 1人入所 他事業所より移行

3月 2人入所 三雲養護学校卒業

【利用者住所地】甲賀町14人 水口町4人 土山町4人 甲南町4人 信楽町2人
湖南市1人

【障がい区分】精神：3人 知的：26人（発達障がい含む）

【年間平均通所率】87.2%（前年度 93.2%）

【年間平均工賃】月額15,590円／1人（前年度平均15,003円）

(2) 作業内容

【企業支援による内職】 内職先事業所

- ・田中縫工所（個人事業主） 布団の紐切り・結び
- ・（株）コーガアイソトープ 検品作業
- ・（株）三桜工業 自動車部品の下請け作業
- ・（株）加藤製作所 室外機基盤部品入れ、説明書折り、箱折り
- ・（有）河工 トイレ部品選別

《内職作業を通じて、報告方法や困ったときの伝え方、仕事と余暇の切り替え、自信や達成感、充実感を持ってもらい、それぞれの課題に沿った支援を行っている。》

【自主事業】 製菓事業

（製品）：バウムクーヘン（プレーン・ゴマ）メレンゲ・カットバウム（プレーン・ゴマ）
バウムクーキー（プレーン・ゴマ・シナモン）等

（卸先）：新名神土山 SA、道の駅あいの土山、ダイヤモンド滋賀 GC、（有）甲賀もち工房、
JA 花野果市等

《新型コロナウイルスの影響があり、イベント業がない事もあり大量注文がない状況であった。また、原材料が高騰するなど苦しい事業展開となっている。ロス削減商品として、すまいるバウム・はしっこバウムの販売を限定販売して、製菓事業としてできる限りの努力を行った。》

（販売）

- ・命のバトン関連商品の組み立て販売

《命のバトン事業については、受注先の状況により変動する状況であるが、令和3年度も彦根・東近江地域からの注文が多かった。甲賀市内では、ある一定配布されているため新規追加分の注文を受けている。》

【喫茶事業】

- ・喫茶お和しすの事業運営

《地元住民のボランティアの支援を受けて5年、新型コロナウイルスの影響により軽食は中止としているが、主力商品であるコーヒーを中心として、感染症予防対策を行い、継続的に営業を行う事が出来た。》

【施設外就労】

- ・甲賀木の駅プロジェクト 地元ボランティアと薪割作業
- ・すまいる喫茶

【その他事業】

- ・リサイクル事業（町内企業、図書館、市内社協事業所への古紙、アルミ缶回収およびリサイクル庫開放による市内個人からの古紙、アルミ缶の搬入）
※令和2年1月より、海外事情により段ボール価格が下落中（キロ4円⇒1円）
《より多くの市民の方に、甲賀町内のリサイクルステーションとして認識していただけるようになった。継続した広報活動にも力を入れていきたい。》

【社協管理施設の清掃業務受託】

- ・甲賀駅清掃（優先発注受託）
- ・油日駅清掃（優先発注受託）
- ・杣川トイレ（優先発注受託）
- ・ここもーり、除草作業 年間3回
- ・佐山荘の清掃業務 毎週水・金曜 1回3～4人従事
- ・すこやか荘の清掃業務 毎週火・水・金曜 1回1人従事
- ・碧水荘の業務清掃

《主に甲賀市優先調達推進法での委託事業・甲賀市社会福祉協議会内の清掃事業を請け負っている。》

（3）所内行事

- （6月）作業所内で映画鑑賞
- （10月）こうかサスケクラブスポーツ出前講座
- （11月）こうかサスケクラブスポーツ出前講座
- （12月）こうかサスケクラブスポーツ出前講座
- （1月）大鳥神社、油日神社 初もうで

※お誕生日会（毎月）・・・利用者の誕生日月に実施。好きなデザート1品。

（4）ボランティアの状況

- ・喫茶お和しすボランティア 火～金（毎回3～4人）
- ・薪プロジェクト 毎週月曜日、木曜日（雨天時中止）
※更生保護女性会・日本赤十字奉仕団・民生委員児童委員については、今年度中止

(5) 実習の状況

三雲養護学校 2年、3年 実習受け入れ

(6) 会議等

定例会議等

- ・サービス調整会議（毎月1回）
- ・職員会議（毎月1回）
- ・ケース会議（不定期 随時）
- ・工賃検討会議（年1回）
- ・作業所検討部会（毎月1回）
- ・個別支援計画作成会議（年2回）
- ・モニタリング会議（年2回）
- ・薪定例会（毎月第1木曜日）
- ・進路調整部会（年3回）

(7) 職員の研修等

- ・障がい者虐待防止研修（甲賀）
- ・サービス管理責任者 実践研修
- ・事業継続計画 研修（戸山サンライズ）

《甲賀福祉作業所事業全体のまとめ》

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響が昨年度に引き続きあったが、その状況の中、製菓事業ではロスをなるべくなくし効率良く事業を行う事ができ、売り上げが減少しながらも利益については致命的な減少とまではいかなかった。内職清掃事業については、関連する企業の企業努力があり、1年間安定して仕事を請け負う事が出来た。地域と密着した関係性は、更に進める事が出来、ボランティアの支援を受けながら地元の課題に向けて甲賀福祉作業所として関わり合いを持つ事が出来た。特に薪割り・薪束作り作業は、林福連携事業となっている。

今後も利用者ニーズに合わせた支援を中心に行っていき、地域で安心して障がい者の方が活躍できる場を作り、連携して地元の課題に対して一緒に取り組める作業所を目指していく様にする。

V. 医療・介護・福祉連携への取り組み

1. 在宅生活支援部の事業

訪問介護事業・訪問入浴事業・通所介護事業・訪問看護事業・居宅介護支援事業

(1) 在宅看取りケア・認知症支援

① 在宅看取りケアの実践

チームケアの視点で取り組んでいる在宅看取り件数は、延べ72人、死亡終了件数の39.1%（令和2年：39.1%）で、高い成果をあげている。

○事業別の在宅看取り支援件数

	在宅看取り（件）	死亡終了（件）	在宅看取り率（%）
訪問介護	21	44	47.7
訪問入浴	12	20	60.0
通所介護	0	4	0
訪問看護	19	50	38.0
居宅介護支援	20	66	30.3
合計	72	184	39.1

※在宅看取り件数は重複あり

② 認知症キャラバン啓発事業（市受託事業）

「認知症になっても安心して暮らしつづけられる甲賀市」を目標に5町エリアごとに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の啓発を実施すると共に、講座を担うキャラバンメイトの育成を行った。また、登録認知症サポーター制度を展開し、登録サポーターによる認知症の啓発活動も積極的に行った。

サポーター養成講座開催回数・受講者数	15回・367人（前年度12回・250人）
登録認知症サポーター登録者数	9人（累積登録者数34人）
登録認知症サポーター延べ活動人数	36人（前年度2人）

③ 認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催

デイサービスセンターすこやか荘にて、認知症カフェを開催し、認知症の方やご家族、地域住民の方に居場所の提供を行った。

オレンジカフェ開催回数	4回
オレンジカフェ参加者数	50人

（２）感染予防対策の取り組み

① 各事業での感染予防対策

全職員に対して、出勤前の健康チェックを行い、感染予防具の整備および事業所環境整備を継続して行った。また、自宅療養のコロナ感染者や濃厚接触者に対しても、訪問ケアを継続し、在宅療養支援を行った。

② イベントサーベイランス事業等の活用

感染者数の増加時期に、イベントサーベイランス事業や抗原検査キットを使用して、感染疑い者の検査を実施、感染予防を図った。

③ コロナＢＣＰマニュアルの策定とＢＣＰ訓練の実施

各事業でＢＣＰマニュアルを策定し、事業所内で感染者が発生したことを想定したＢＣＰ訓練を全事業所で実施した。

・ＢＣＰ訓練実施事業所 11 事業所

（３）介護・看護人材の確保と定着

① かいご・ふくし就職説明会への参加

7 月 14 日（水）ハローワーク甲賀 面談者 7 人

・面談者の 1 人は訪問入浴介護員として入職

② カイゴとフクシ就職フェアへの参加

10 月 24 日（日）水口社会福祉ホール 面談者 9 人

（４）避難行動要支援者個別計画作成のための訪問調査

①希望ヶ丘まちづくり協議会より業務委託を受け訪問調査を実施

・実施期間 10 月 8 日～2 月 22 日

・調査件数 200 人

（５）甲賀市地域包括支援センター業務の受託に向けての準備

①信楽地域包括支援センター運営業務の受託決定経過

・1 月 26 日 公募型プロポーザルに参加表明

・2 月 25 日 プロポーザルプレゼンテーション

・3 月 3 日 採用決定通知

・3 月 7 日 委託契約締結（評議員会決議を経て 3 月 7 日に遡り締結）

2. 訪問介護事業

◎介護予防日常生活支援総合事業

- ・訪問型サービス A 5 事業所で開設 4 月 1 日（木）～

◎訪問介護事業所の統廃合

- ・ヘルパーステーションこうなん閉所 3 月 31 日（木）

◎喀痰吸引特定事業所

- ・認定特定行為業務従事者研修、実習を受講
第一号、第二号研修 職員 2 人 取得
第三号研修 職員 4 人 取得
痰吸引認定訪問介護員 5 事業所 計 15 人（3.31 現在）
体制強化を図り資格を持った職員が事業所枠を超えて訪問、また特定の利用者への吸引・経管栄養を実施し医療依存度の高い方の在宅生活の継続を支援。

◎認知症対応力向上に向けた研修を受講

- 認知症介護基礎研修 3 人（計 25 人）
認知症介護実践者研修 2 人（計 11 人）

◎介護職員処遇改善支援補助金取得 2 月 1 日～

◎新型コロナウイルス感染症 BCP 計画策定、訓練を実施

◎職員研修

- ・各事業所において、資質向上を目的とした研修を毎月実施
- ・職場環境の改善による職員の定着確保に向け「抱え上げない介護」を実施
- ・自立支援に向けたケアを意識し利用者の望む生活ができるよう根拠に基づいたサービス提供の方法として「介護過程の展開」や「ひもときシート」を継続して学ぶ

◎各種会議への委員参画

- 甲賀市介護人材確保定着促進協議会 : 委員として参加
- 甲賀市介護アドバイス事業 : 在宅介護コーディネーターとして 3 人を派遣
〃 : 新コーディネーター育成 3 人（計 6 人）
- 滋賀県難病対策推進協議会 : 委員として参加

① 安否確認安心ダイヤル事業の実施

事業所名	利用者数（人）	電話回数（回）	訪問回数（回）
みなくち	14	389	3
つちやま	0	0	0

こうか	12	365	1
こうなん	0	0	0
しがらき	20	361	0
計	46	1,115	4

② 事業運営状況

○事業所別 年間訪問介護（介護給付）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	589	8,162	13.8
つちやま	627	10,086	16.1
こうか	571	10,710	18.8
こうなん	293	4,026	13.7
しがらき	620	11,105	17.9
計	2,700	44,089	16.3
月平均	225	3,674	16.3

○事業所別 年間訪問介護（総合事業）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	39	186	4.8
つちやま	77	407	5.3
こうか	76	466	6.1
こうなん	16	93	5.8
しがらき	70	369	5.3
計	278	1,521	5.5
月平均	23	127	5.5

○障害別自立支援給付年間利用状況

サービス区分	利用者数（人）	サービス区分	利用回数（回）
身体	153	身体	3,377
知的	149	身体生活	375
児童	0	生活	426
精神	135	同行	97
難病	0		
視力	53		
合計	490	合計	4,275
月平均	41	月平均	356

○甲賀市受託事業・保険外サービス年間利用状況

	利用者数（人）	利用回数（回）	月平均人数・回数 （人）・（回）
甲賀市介護特別給付事業	33	472	2.8・39
甲賀市ひとり親家庭家事 援助派遣事業	0	0	0・0
甲賀市移送乗降介助事業	17	45	1.4・3.8
介護保険外サービス事業	103	160	8.6・13.3

3. 訪問入浴事業

◎職員研修

- ・資質向上を目的とした研修を毎月実施
- ・利用者の課題解決に向けた事例検討会、技術研修の実施

◎介護職員処遇改善支援補助金取得 2月1日～

◎新型コロナウイルス感染症 BCP 計画策定、訓練を実施

◎腰痛予防対策

ラジオ体操、ストレッチ等を実施し腰痛予防対策の徹底
福祉用具の活用による介助方法の見直し

◎啓発活動の取り組み

居宅介護支援事業所、利用者へパンフレット配布

◎講師派遣

甲賀市在宅介護基礎研修 2月12日（土）
「入浴介助の方法について」

◎在宅看取り率

サービス提供開始から終了まで短期間利用が今年度も多く、在宅看取り率は
60%（前年度 50%）

① 事業運営状況

○訪問入浴（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
湯ステーション	411	2,151	5.2
月平均	34	179	5.2

○甲賀市身体障害者入浴サービス事業年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
湯ステーション	36	252	7.0
平均	3	21	7.0

4. 通所介護事業

◎通所事業統合

- ・碧水荘デイサービスセンター（水口町）閉鎖、すこやか荘と統合（4月1日）
碧水利用者 33 人中 17 人移行希望すこやか荘で受け入れ

◎新型コロナウイルス感染予防対応

- ・BCP マニュアル作成、研修、訓練実施
- ・滋賀県イベントベースサーベイランス事業を活用し PCR 検査実施
 - 1 回目： 9 月 1 日実施（職員 23 人 全員陰性）
 - 2 回目： 1 月 21 日実施（職員 11 人 利用者 31 人 全員陰性）
 - 3 回目： 2 月 25 日実施（職員 25 人 全員陰性）

◎年間行事の実施

お花見、敬老会、年忘れ会、しめ縄作り、豆まき

◎利用者の社会参加・地域交流

オレンジカフェ参加 年間 4 回、体操教室 年 3 回

◎自立支援への取り組み

- ・個別目標の実施（歩行訓練・日常生活動作など）
- ・ADL 維持加算の取得継続（L I F E）
- ・PT、ヘルパーステーションと連携、指導を受け移乗動作検討実施
- ・盲導犬同伴の方見学受け入れ、受け入れのための勉強会開催（職員）

◎看取り・認知症支援

- ・認知症カフェの開催（5 月 19 日、7 月 21 日、11 月 17 日、3 月 6 日）計 4 回

- ・重度者への対応（時短利用での受け入れ、看護師同乗体制）

◎防災関係

- ・避難訓練の開催 年2回（防災訓練、水消火器実施、気象庁オンライン研修）

◎アンケート調査

- ・利用者、居宅介護支援事業所へ満足度および今後のサービス向上のためのアンケートを実施、集計の配布

◎その他

- ・指定管理建物検査 3月16日（水）

① 事業運営状況

○通所介護（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
すこやか荘	764	7,165	9.4

○通所介護（予防給付・総合事業）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
すこやか荘	138	641	4.6

○1日平均通所者数（介護給付・予防給付・総合事業の合計数）

事業所名	利用者数（人）	利用定員（人）	通所率（%）
すこやか荘	25	35	71.4

※（開所日数 305日）

5. 訪問看護事業

◎滋賀県立総合保健専門学校看護学科生の臨地実習

11月5日（金）～11月18日（木） 学生3人 1クール延べ日数30日

◎他法人デイサービスとの連携訪問

連携回数 258回

◎24時間緊急電話対応

総回数 437回（前年度回数：346回 前年比126%）

◎コロナ感染自宅療養者の観察業務（県委託）

訪問回数 延べ 24 回 電話での観察業務 延べ 65 回

◎各種会議への委員参画

甲賀市地域ケア会議 : 高齢者虐待個別ケース検討委員

甲賀市介護認定審査会: 審査委員

◎全看護師参加の技術研修（内部研修）

・介護保険と医療報酬の加算について 2月24日（木）

・困難事例検討会 7月1日（木）、2月9日（水）

◎利用者アンケートの実施

全利用者を対象にアンケートを実施、他者評価を行った。

利用者 111 人 回収率 70%

① 事業運営状況

○訪問看護年間利用状況

事業分類	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
介護給付	1,207	5,525	4.6
予防給付	157	449	2.9
その他	99	332	3.4
計	1,463	6,306	4.3
月平均	122	526	4.3

6. 居宅介護支援事業

◎社協ケアプランセンター研修会開催（ケアマネジャー全員参加）

第1回 8月25日（水） 水口福祉ホール

第2回 3月3日（木） かふか生涯学習館

・3事業所合同で事例検討会、実践報告会を行い、自立支援のあり方について学びを深めた。

◎各種会議への委員参画、研修講師の派遣

介護保険運営協議会

滋賀県看護協会研修への講師派遣

◎地域包括支援センター主任ケアマネジャー出向

業務内容 甲賀市包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

出向期間 4月1日～3月31日

業務地 信楽地域包括支援センター

◎他法人事業所におけるコロナウイルス感染症クラスター発生に伴う代替サービスの調整

◎利用者、住民への在宅看取りの啓発を継続し、令和３年度は、社協利用者ケアプラン死亡終了者のうち、30.3%（前年度 30.8%）の方を在宅で看取支援した。

① 事業運営状況

○居宅介護支援事業実績状況

事業所名	利用者数（人）	認定調査（件）	介護予防サービス ・支援計画（件）
ぬくもり	2,721	124	318
あい	1,749	64	338
しがらき	2,297	66	383
合計	6,767	254	1,039
月平均	564	21	87